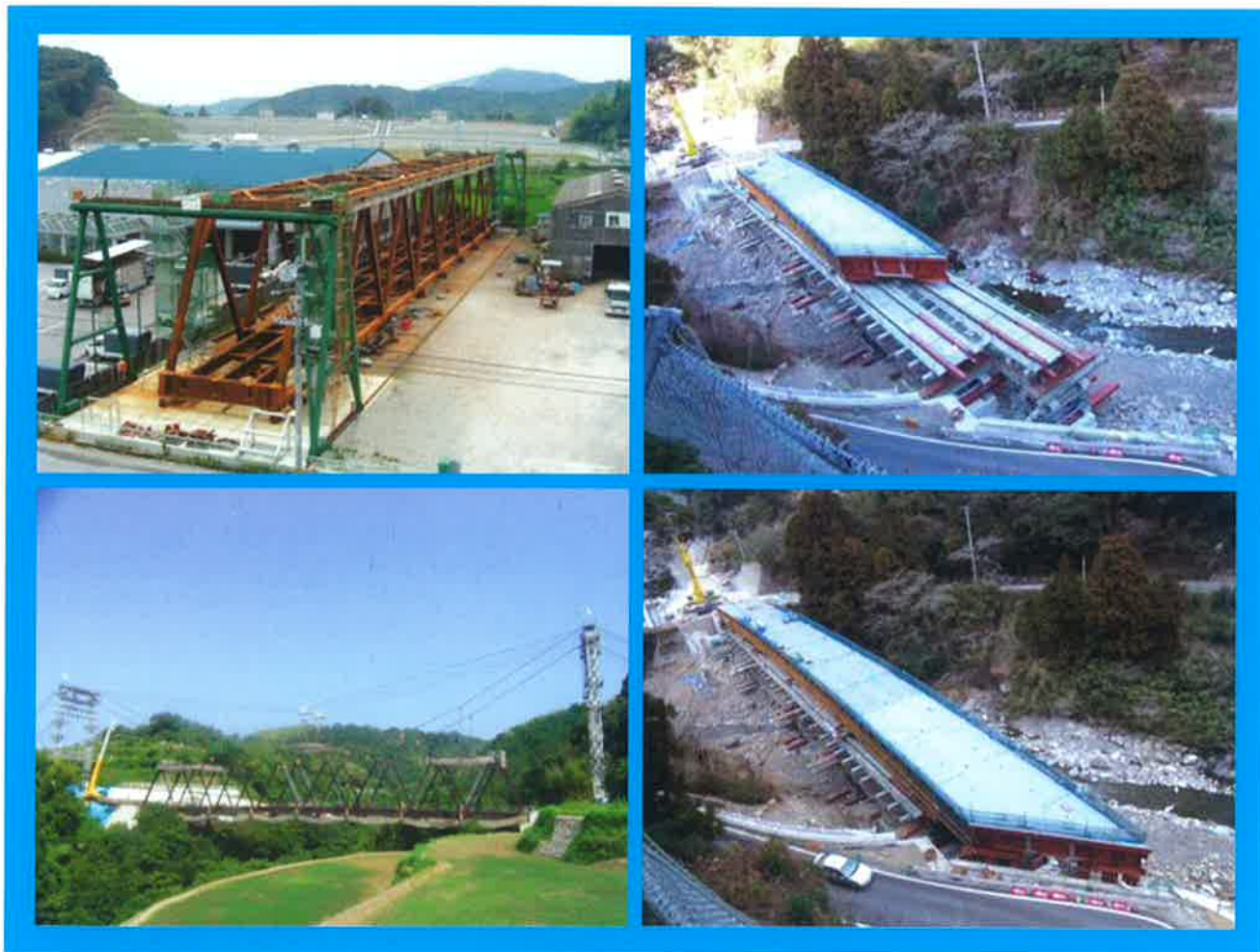


創立35周年記念誌

—35TH ANNIVERSARY EDITION—



高知県・赤野橋(ケーブルエレクション直吊工法)

高知県・馬路大橋(送り出し工法)

2012年6月

高知県橋梁会

KOCHI SOCIETY OF
ENGINEERS ON BRIDGES

目 次

ご挨拶

ご挨拶	高知県橋梁会会長	右城 猛	1
ご挨拶	創立35周年記念事業実行委員長	吉田 幸男	2

祝 辞

祝 辞	高知県知事	尾崎 正直	3
祝 辞	高知工科大学理事長	岡村 甫	4
祝 辞	中村河川国道事務所長	岡村 環	5
祝 辞	日本技術士会四国本部長	加賀 晃次	6
祝 辞	高知県測量設計業協会会長	橋口 孝好	7
祝 辞	宮城県を元気にする高知応援隊 事務局長	高野光二郎	8
祝 辞	高知県橋梁会顧問	西岡南海男	9

高知県橋梁会の変遷

高知県橋梁会35年の歩み	10
研修会の内容	16
見学会の内容	29

新旧役員投稿

お礼の言葉	元会長	村山 保	31
高知県橋梁会での思い出	元副会長	中村 和弘	32
高知県橋梁会の思い出	元理事	安見 和夫	33
高知県橋梁会の思い出	元理事	岡本 圭吾	34
高知県橋梁会35周年を迎えて	理事・会計	西川 準二	35

高知県橋梁会名簿

役員名簿	36
会員名簿	37

協賛広告	39
------	----

ご挨拶

高知県橋梁会会長

右城 猛



高知県橋梁会は今年の4月をもちまして創立35周年を迎えることができました。ひとえに、国土交通省、高知県、県内市町村、大学、高専、民間企業をはじめとするたくさんの方々、そして高知県橋梁会会員諸兄のお陰であり、心より御礼申し上げます。

高知工業高校を定年退職し、第一測量設計コンサルタント株式会社の社長をされていた石川貴泉先生の「県内でも橋梁の設計ができるように皆で勉強しようではないか」という呼びかけに36名の有志が相集い、昭和52年に「高知県橋梁・構造物技術者会」が設立されました。現在の高知県橋梁会です。

昭和57年からは安芸工業高校の校長を定年退職して株式会社サン土木コンサルタントの会長職にあった村山保先生が、平成9年からは高知大学農学部教授を定年退職して株式会社第一コンサルタンツの取締役技師長職にあった玉井佐一先生が、そして平成19年からは不肖私が会長を務めさせていただいています。

35年間を振り返って見ますと、記録に残されているだけで実に377名の方に講師をお引き受けいただいています。この中には、専門分野では日本を代表する権威者の方もたくさん含まれています。改めて、多くの方々に支えられて今日の橋梁会があるのだと感謝の念に堪えません。

現在の法人会員は35社です。公益社団法人土木学会四国支部との共催で、毎年4月、8月、12月に研修会、6月には現場見学会を開催しています。研修会では毎回5～6名の講師によって技術研究発表、工事報告、技術基準の解説、新工法や新製品の紹介などをさせていただき、会員、非会員を合わせて約80人が熱心に聴講して活発な討議を行っています。

平成20年からは「高校生橋梁模型コンテスト四国大会」への協賛、高校生の専門的技術教育を支援することにも力を注いでいます。

平成23年には、高知県橋梁会の高知地域における活動を高く評価していただき、土木学会四国支部から地域貢献賞をいただく光栄に浴すことができました。

高知県は近い将来、南海トラフを震源とする巨大地震に襲われることが予測されており、橋梁の耐震補強が急がれています。また、過去に施工された橋梁の劣化・損傷が進行しており、長寿命化対策が今後の大きな課題になっています。

高知県橋梁会では、これまで以上に関係機関や会員企業の皆様にとって役立つ研修会や現場見学会を企画・実施してゆきます。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶

創立35周年記念事業実行委員長
高知県橋梁会副会長
吉田 幸男



高知県橋梁会は昭和52年4月に発足し、早いもので今年で35周年を迎える事となりました。

私が高知県橋梁会にお世話になるようになったのは、平成15年4月のことです。縁あってお声掛けをいただき、森下さん、西川さんと共に理事を仰せつかり、早くも9年の歳月が過ぎ去りました。

私が努めてきたのは9年間ではありますが、これまでたくさんの方々のご尽力とご協力で高知県橋梁会は支えられてきました。そこで、高知県橋梁会を支えて下さった皆様に感謝の意を込めて創立35周年記念事業を行おうではないかと、さる平成23年11月の理事会において決定されました。

実行委員は理事全員の、右城猛氏、西川準二氏、武内豊氏、森下伸裕氏、濱田博人氏、岡林弘憲氏が努め、私が委員長を命ぜられました。

その後、理事会において記念事業として、記念式典と祝賀会の開催、記念誌の発刊を行うこととなり、組織作りから、式典や祝賀会の内容、予算計画等の準備を理事会だけでは時間が足りず、臨時理事会も招集し進められました。そして、平成24年6月27日(水)高知会館において式典を挙げる運びとなりました。この創立記念事業の内容が皆様のご期待に添えたものになっているかについては、いささか不安ではありますが、実行委員全員で様々な議論を行いとりまとめた総意となっております。至らぬ点もあるかと思いますが、何卒ご容赦いただけたらと思います。



平成24年5月の理事会

今回、発刊することになりました橋梁会創立35周年記念誌において、ご祝辞を賜りました関係各位の皆様、寄稿をいただきました橋梁会元理事の皆様、広告をいただきました法人会員各位、ならびに協賛下さいました企業各社の皆様に対し、心から厚く御礼申し上げます。

また、実行委員の皆様にご多大なご協力をいただき記念事業が遂行できましたことに、併せて御礼申し上げます。

終わりになりますが、高知県橋梁会がこれまで以上に会員企業や関係機関の皆様へ、情報発信、情報共有の場として利用していただき、有意義なものとなるよう取り組んで参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

祝 辞

高知県知事

尾崎 正直



高知県橋梁会が創立 35 周年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。

また、貴会が、昭和 52 年の創立以来、県内企業、技術者の技術力の向上を合い言葉に
不断の努力を積み重ねられてきましたことに、深い敬意を表しますとともに、日頃から県
行政の推進にご理解、ご協力を賜っていますことに、心から御礼を申し上げます。

さて、高知県では、将来必ず発生するといわれています南海トラフの巨大地震対策の
スピードアップと抜本強化に全力で取り組んでいます。3 月 31 日に内閣府から発表となりま
した、「南海トラフの巨大地震による震度分布・津波高」によりますと、高知県内は震度 7
が想定される地域が 34 市町村中 30 市町村、津波に関しては最大津波高 34.4m、1m の津波
到達時間は最短で 2 分という従来の想定を大きく上回る、全国的に見ても最も厳しい推計
結果となっています。こうした推計結果を受けて、5 月 10 日に高知県では現段階で推計で
きる最悪レベルの津波の浸水予測を公表しました。今後はこうした最大規模の津波から生
命を守ることにあわせ、被害を最小化するためのハード、ソフトを組み合わせた総合的な
対策が不可欠となってきます。このうちハード面においては、先人が営々と築造をしてき
ました各種のインフラ施設を適切に維持管理・更新していくことが非常に重要ですので、
現在、橋梁の耐震化や海岸堤防・河川堤防の耐震化など、多方面にわたる対策を実施して
います。こうした中、県内の土木技術者の皆様には、これまでに培われた技術を発揮して
いただき、安全で暮らしやすい県土づくりに向けまして、なお一層のご尽力をお願いした
いと思います。

今後とも高知県内の土木技術の更なる向上を目指し、会員の皆様のより活発な研究が進
みますよう、ご期待申し上げます。

最後になりますが、高知県橋梁会が今後ともますます発展されますとともに、会員の皆
様の一層のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げます。

祝 辞



高知工科大学理事長

岡 村 甫

高知県橋梁会創立35周年を心よりお祝い申し上げます。

私の尊敬する御子柴光春氏が50年以上にわたって橋梁技術者として活躍されてこられた経験を「橋について考える」という題でまとめられた著書を最近いただきました。

御子柴氏は、「古い時代から永く生きてきた橋の殆どが、石造りであり、構造系はアーチ形式であることが多い」ことを指摘し、耐久性を損なう3悪人（支承、伸縮継目、排水装置）を用いない「多径間連続コンクリートアーチ橋」を推奨し、実現したこと。PC長大橋である浦戸大橋を上下部一体構造として設計し、その耐震性を当時の最新技術である動的応答解析（基盤に地震波を入力）で検証したこと。コンクリート橋の塩害対策分科会長として、「道路橋の塩害対策指針（案）・同解説」を作成したこと。など、私が知っていることだけでも素晴らしい業績を上げておられます。

我が国の橋梁がどのような考えに基づいて発展してきたかが、手に取るようにわかる素晴らしい内容で、橋梁技術者のバイブルとなるものと信じています。この原稿に何を書こうかと考えていたときでした。運命的なものを感じ、その一端を以下に紹介させていただき、祝辞に代えたいと思います。

よく考えてみれば、問題を解決して欲しいと願っている当事者が、必要性を最も感じているので、その人が担当するのが一番よいと思っている。それが出来なければ、他人をあてにするしかない。が、頼まれる人は、直接苦しんでいない人である。だから、大きな課題の解決は、自らが行うのがよい。しかし、それが出来ないならば、頭を下げて、旗を振り続けるしかない。とういのが私の持論である。そして、そうすることがこの道に進んだ技術者の使命である。と私は考えている。

橋もそうですが、土木技術者がやっていることは、作ってしまえばそれで終わりというのではなく、長い間使われてこそ意義があります。だから使われてきた橋、使われている橋を調査し、問題があるのか無いのかそれを見極めることが第一であると思います。次に問題の解決では、中途半端な妥協をしないことです。特に技術者は、なまじ技術のことがわかるので、時間がたつにつれて途中で妥協をしがちです。が、中途半端な妥協をして作ったものはいつしか使われなくなります。

祝 辞

国土交通省四国地方整備局
中村河川国道事務所 所長
岡村 環



高知県橋梁会が、創立35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴会におかれましては、研修会や調査研究等により、高知県の土木技術向上に不断の努力を続けられるなど、会員皆様の永きにわたる御尽力に対し、心から敬意を表します。

この35年の間には、四国では、本四3架橋の開通や高速道路網の延伸など、基礎的交通条件は大きな変貌を遂げ、高知県におきましても、今年度には四国横断自動車道、中土佐IC～四万十町中央IC間や高知東部自動車道、香南かがみIC～香南やすIC間の開通が予定されるなど、「四国8の字ネットワーク」の完成に向け着実に進んでいるところであります。

一方で、昨年3月11日に東北地方を襲った東北地方太平洋沖地震では、東日本一帯で甚大な被害をもたらし、今年3月31日の内閣府南海トラフの巨大地震モデル検討会による推計結果では、従来の想定を大幅に上回り、なかでも高知県は、全国で唯一津波高30mを越す地域であるなど、防災・減災対策が喫緊の課題となっています。

このため、国土交通省では、地域の方々の安全と安心を確保するため、高規格ネットワーク未整備区間の解消や橋梁の耐震対策など、全国に比べて立ち後れている社会資本整備に取り組み、災害に強い地域づくりを進めています。

これらの社会資本整備にあたり、貴会の深い見識と高い技術力を大いに発揮していただき、国土交通省の事業に対するより一層の御支援、御協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々の御発展と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

高知県橋梁会 35 周年祝辞

公益社団法人日本技術士会 四国本部長

加賀 晃次



高知県橋梁会の創立 35 周年にあたり一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

本四連絡橋を完成させたわが国の橋梁技術は、世界の最高水準に達していると言っても過言ではないでしょう。しかし、この技術は一朝一夕に実現したものではなく、明治維新後の先輩橋梁技術者諸氏の努力の賜と言えるでしょう。

明治維新直後、政府は直ちに欧米に追いつき追い越すべく富国強兵・殖産興業策を実施します。そのひとつが外国人技術者を雇い入れ技術を学ぶことでした。わが国明治草創期の橋梁技術はお雇い外国人によって形作られていったわけです。しかし、明治も中期には日本でも優れた人材が出現し始めます。そのひとりが、ここ高知県出身でわが国橋梁界の大先輩、広井勇(1862. 9. 12~1928. 10. 1)です。

広井は『橋梁示方書』や『鉄筋混凝土橋梁』を發表し、わが国橋梁設計、特に RC 橋設計に計り知れない業績を残した人であり、ほかにもたくさんの著作が残っています。中でも広井がアメリカで出版した『Plate Girder Construction』は橋梁計画に画期的な進歩を与え、独創的著作と評価されています。

広井は明治 32 年(1899)に東京帝国大学工科大学教授に就任し、香川県出身の増田淳を初め、その後のわが国橋梁界の中心的役割を果たす数多くの優れた橋梁技術者を育てていきました。

大正末期から昭和初期にかけ、それらの人達の活躍はめざましいものがありました。明治維新から約 70 年、ようやく日本人技術者が独自のセンスもって「橋」という構造物を作り始めたとき、わが国橋梁界は太平洋戦争という技術の中断を見なければなりません。しかし、戦後の復興、特に橋梁技術の進歩はめざましいものであったことは言うまでもありません。

高知県橋梁会の 35 周年というこれまでの活動を見ても広井の教えは脈々と受け継がれていることを実感せざるを得ません。

わが国には 70 万橋を超える橋梁が架けられています。今後これらの橋梁を如何に長持ちさせ、維持していくか、そして近き将来その発生が確実視されている東海・東南海。南海地震へ如何なる補強や津波対策をやっていくか、が緊急の課題であります。

今こそ高知県橋梁会の実力の見せ所でしょう。これまで培われた豊富な経験や知識を存分に発揮され、安心できる環境作りのためこれらの課題に取り組んでいただきたいと思えます。

今後とも貴会の益々のご発恵と会員皆様方のご活躍をお祈りいたしております。

祝 辞

(社)高知県測量設計業協会
会長 橋口 孝好



この度、高知県橋梁会が設立 35 周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

高知県橋梁会は、昭和 52 年に 36 名の有志が相集い、橋梁等土木構造物の設計のほとんどが県外企業で設計がなされている状況下で県内企業の技術向上を図り、県内で設計できるようにするための勉強会として、初代会長の石川貴泉先生の呼びかけで設立され、現在では法人会員 35 社の規模となり、高知県の土木技術の向上にはなくてはならない高知県橋梁会となりました。

この間、歴代会長をはじめ、役員並びに会員各位の並々ならぬご努力により、地域社会・経済発展の基礎となる橋梁等土木構造物の設計に関する技術向上に多大な貢献をされてこられました。深く敬意を表するものであります。

35 年間の長きにわたって勉強会を継続できたことは歴代会長の常に高知県の土木技術の向上や技術者の育成に対する熱い思いとその向上心に満ちた取り組みがあったからだと思われまます。

高知県は近い将来、巨大地震に襲われることが予想されており、橋梁や既存の土木構造物での耐震補強や長寿命化対策がさらに重要になってくると思われまます。

このような設計・施工においては、従来の技術領域を超えた新技術・新工法の開発や適用が必要となるケースも多いと思われまますが、新技術・新工法の紹介や技術を普及していく上では、高知県橋梁会の果たす役割は大変大きなものがあります。

右城会長は、(社)高知県測量設計業協会におきましては技術委員長として、その卓越した技術力と実行力でもって会員各社の技術力の向上にも大きく貢献して頂いておりますことに対しても心より感謝を申し上げるところでございます。

高知県橋梁会におかれましては、この意義なる 35 周年を契機として土木技術者の技術の向上と今後ますます多様化・高度化する地域社会の要請に的確に応えられまますよう念願するとともに高知県橋梁会のますますのご発展と各員各位のご繁栄を心から祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



宮城県を元気にする高知応援隊

事務局長 高野光二郎

創立 35 周年を心からお慶び申し上げます。

私達は、昨年の東日本大震災で被災した宮城県を中心に復旧・復興に対して、震災直後から継続的な支援を行っている任意団体です。右城猛会長には、強い指導力を発揮頂き、震災 3 カ月後に総勢 57 名で宮城県入りした際には、橋梁会会員企業 9 社（24 名）を応援隊の一員として派遣頂き、炊き出し等様々な支援活動と一緒に行って下さいました。更に、貴会は独自に滞在日程を延長され、その専門的な知識と検知により被災地の橋梁をはじめとした構造物等を徹底的にプロとして調査を頂きました。その経験は、今後より一層加速する南海地震対策に有効に反映される事は疑う余地もありません。

本県は、全国的にも恵まれた自然環境を有する一方、大雨、台風などが原因で起こる落石等の土砂災害が多発する県であり、次の南海地震は沿岸部や浸水予想地帯だけでなく、山間部に対しての災害対策も必須であります。

平素から、現地調査、研修、社会貢献活動を通じて、技術の向上や新製品の開発、人材育成等に対して並々ならぬ努力と研鑽を積み重ねている事は、本県のインフラ整備にとりまして着実な成果を残され、貴会の社会的役割や存在意義は益々重要になっております。

橋梁は地域住民の生活や人生に直結しており、利用者の可能性を拓ける役割と共に、そこで暮らす人々の生命と財産を守り繋いでいく大変重要な公共事業であります。

災害が多発する本県にあって決して災害に負けない気概と技術力を備え、災害対策先進県の最前線での活躍を期待しております。

今後共、貴会の益々のご隆盛を心からお祈り申し上げます。

祝 辞

高知県橋梁会顧問

西岡 南海男



35周年おめでとうございます。高知県橋梁会は1977年(昭和52年)に創立されました。どのような経緯・目的で設置されたかは他の人の原稿にゆずりたいと思います。

35年前と言えば本四連絡橋もまだ無く、四国島内には高速道路も無い状況でした。高知県内でも早明浦ダムは完成(昭和50年)していましたが、一般国道56号中村宿毛道路、32号高知東道路、33号高知西バイパスが相前後し本格的に進められ始めた時期でした。

四国島内および高知県内の社会資本の整備遅れは現在も続いております。また、確実に起こる東海、東南海、南海地震へのソフトハードの取組みも喫緊の課題となっております。一方、高度経済成長期に整備されてきたインフラの維持補修や更新も財政的にも大きな課題となっております。このような状況ですので技術革新、コスト縮減等、民間の土木技術者の集団である高知県橋梁会を構成する会員の果たすべき社会的役割は自覚すればするほど、益々大きくなってきています。

これまでの高知県橋梁会の活動は活発で、会員の技術論文発表、会員所属会社の技術開発製品や工法の紹介、また、発注者を講師に招き公共事業の方向性やその取組みの紹介、入札契約手続きの紹介、南海地震対策、落石対策、斜面防災対策、橋梁マネジメント、橋梁補強補修工法、国会議員によるこれからの公共事業、東日本震災現地調査報告など時機を得た講演が数限りなく行われてきました。また、多士多彩な講師と内容で、土木技術者として身近なテーマが多数取り上げられ有益な活動実績であったと評価したいと思います。一方、現地研修ではバスで現場を実際に見て説明を受けたり、議論をしたり有益な成果を積み重ねてきております。

高知県橋梁会の会員の皆様は業界の様々な分野で活躍されている人が多く、年齢的にも会社を支え、中心となって働く人たちで構成されています。我が会社だけの世界でなく、先輩、同世代、後輩となる他社の人たちとの交流を通じて技術的にも社会的にも人間的にも成長していく場としての役割を高知県橋梁会が果たしているのではないかと思います。いわば土木技術者の「サロン」「オアシス」と言ってもよいのではと思います。このような土木技術者の会は全国的にも無く、このすばらしい高知県橋梁会を40年、50年に向けて発展させていきたいものです。

会員皆様の益々のご活躍を心から祈念いたしまして祝辞とします。

高知県橋梁会 35 年の歩み

高知県橋梁会 会長 右城 猛

1. まえがき

36名の同志が相集い「橋梁など土木構造物設計の技術を身につけよう」との熱い思いで高知県橋梁会を設立したのが昭和52年4月です。気がつけば、35年の歳月が過ぎていました。ここまでこられたのは、たくさんの方々にお世話いただいたお陰であり、感謝の念に堪えません。

35周年を節目に皆様方からいただいたご厚情や先輩たちの情熱を再確認させていただき、それらを記録に残して後生に伝えなければという使命感と高知県橋梁会の更なる発展に繋がたいという思いで、これまでの35年の歩みを振り返ることにしました。

2. 発足当時

創立15周年を記念して「高知県橋梁会会報 Vol.1」が発刊されています。それに、当時の株式会社サン土木コンサルタント社長の公文重徳氏と株式会社エスロック社長の北村孝氏が、高知県橋梁会発足当時のことを述べておられますので、その概要を紹介させていただきます。

昭和51年の3月頃、石川貴泉先生の呼びかけで掛川延寿、公文重徳、山崎英昭、北村孝の各氏が市内の喫茶店に集まり、その席で、「橋梁等土木構造物の設計のほとんどが県外企業でされている。県内企業の技術向上を図り、何とか県内でも設計ができるようにするため勉強会のようなものを作ろうではないか」と先生から提案が出され、1年後の昭和52年4月に「高知県橋梁・構造物技術者会」が発足しました。現在の「高知県橋梁会」です。

石川先生は昭和46年に高知工業高校を定年退職され、株式会社第一測量設計コンサルタントの社長に就任していました。

第1回の勉強会は初代会長になられた石川先生が講師となり「地表載荷重による高さ1m以下の橋台パラペットの土圧計算」と「道路側溝壁の土圧計算」、その後「終局荷重作用時の破壊に対する安全度、照査の計算例」などの勉強会が開催されていたようです。

3. 村山会長の時代

安芸工業高校の校長を最後に定年退職し、株式会社サン土木コンサルタントの会長をされていた村山保先生が、石川会長に代わって昭和57年に第2代目会長に就任されました。

この頃から、毎月第一水曜日に理事会(一水会と呼ばれている)が行われるようになりました。理事はいずれも会社の要職にあり、多忙であることから、昼食を食べながら研修会での講演内容、講師の選定など橋梁会の運営に関わる協議が行われていました。一水会の

会場は、最初は高須の談話室青山でした。後には南宝永町のビジネスホテルときわ(現在のエクセルホテル高知)で行われていました。

定例研修会は4月、6月、8月、12月で、臨時に10月と2月に開催されることもありましたが、懇親会がある4月と忘年会がある12月は、高知国際ホテルで開催されていました。

「立派な技術者である前に立派な人間でなければならない」が村山会長の信条で、「子曰く、学びて時にこれを習う、また説(よろこ)ばしからずや 朋有り、遠方より来る、また楽しからずや」、「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」、「水は方円の器に従う」といった諺を繰り返し教えていただきました。

元内閣総理大臣 吉田茂の大磯の自宅をアポイントなしに訪問したという話、そのときに色紙に書いてもらった「心小欲而志欲大」の意味についても何度か話していただき、物怖じしない度胸と「当たって砕ける」の心意気が大切であることも教わりました。

高知県橋梁会では、発足当初から毎年の見学旅行が恒例行事になっています。参加者は例年20名程度ですが、村山会長が誕生した昭和57年には70名が参加しています。



平成元年見学会 高知自動車道立川工事現場を見学した後で梶ヶ森へ登る

4. 玉井会長の時代

村山会長は、平成8年11月に高知国際ホテルで開催した創立20周年記念式典を締めくくりと考慮しておられ、平成9年度から玉井佐一先生に会長をバトンタッチされました。

玉井先生は、平成6年に高知大学農学部教授を定年退職され、株式会社第一コンサルタンツ取締役技師長に就かれていました。

人との出会いを大切にされ、テニスとウイスキーと演歌をこよなく愛しておられ、玉井先生がいると、自然とそこに人の輪ができ、絆が育まれました。

平成11年に1泊2日の日程で大鳴門大橋、北淡町の野島断層保存館、明石海峡大橋などを総勢33名で見学旅行したことがありました。酒豪が揃っていたこともあり、宿泊したポートピアホテルの夕食で飲んだビールや日本酒が半端な量でなかったため、ホテルのボー

イがたいそう驚いたことが忘れられません。

思い出に残る見学会として、平成 17 年の大分旅行があります。宇佐市の石橋、耶馬溪の青の洞門、ピーシー橋梁の施工現場を見学し、株式会社ダイクレさんのご厚意で会員制ホテル「湯布院倶楽部」に泊めていただきました。翌日は、別府の地獄巡り、臼杵の石仏を見学しました。

平成 19 年には、明治 45 年に施工された餘部鉄橋の架け替え工事が開始されることから、撤去前の姿を一目見ておこうという旅行を企画しました。生憎、私は新潟県中越地震被害調査と日程が重なり参加できませんでしたが、玉井会長による天橋立の海浜浸食対策や香住漁港の防波堤に関する車中講義を聞きながらの旅は、玉井会長と最後の別れになったこともあり、参加された 15 名の会員にとって生涯の思い出に残る旅になったようです。

8 月の研修会の後、講師と理事でビアガーデンに行き、暑気払いをすることも玉井会長の時代から始められました。懇親会や忘年会の後には、玉井会長を先頭にして高知国際ホテルの地下にあった「スナックセルビナ」や堀詰の「居酒屋赤狸」に行き、夜が更けるのを忘れて酒を飲み、語り、演歌を歌ったものです。

ずるいことをする人がいるとサッカーの審判のように、教育的指導と称して両方の手首をくるくる回してから右手人差し指をその人に向けるのが会長の愛情表現でした。玉井会長は温厚で慈愛に満ちていました。打算的な人、礼儀をわきまえない人、思いやりに欠けた人に対しては厳しく注意される真の教育者でした。

他人の悩みに対しては真剣に耳を傾け、勇気づけてくれましたが、ご自身のことで他人に迷惑や心配をかけることについては人一倍気を遣っておられ、最後にガンに冒されたときも、入院の直前までそのことを誰にも打ち明けることはありませんでした。

平成 19 年 8 月 16 日に国立高知病院に入院され、手術は成功したと聞いていたのですが、29 日から容態が急変し、30 日の早朝に他界されました。満 77 歳でした。



平成 17 年度 1 泊 2 日の見学旅行 別府地獄巡り

5. 最近の状況

平成19年12月の研修会の後の臨時総会で、不肖私が第4代目の会長に選任されました。基本的には、村山会長、玉井会長のやり方を踏襲していますが、時代の変化に応じて変えた点もいくつかあります。

一つ目は、経費の節減を図るため、創立15周年を記念して平成5年から隔年毎に発行してきた会報をVol.8(平成19年)を最後に取りやめ、平成20年度から簡易な活動報告に切り替えると共に、高知県橋梁会のホームページを開設しました。

二つ目は、地域貢献活動です。平成20年から「高校生橋梁模型コンテスト四国大会」に審査委員として協力すると共に協賛金を出させていただいています。また、12月の研修会では高校生にも研究発表をしていただいています。

平成23年には、高知県橋梁会の高知地域における活動を高く評価していただき、土木学会四国支部から地域貢献賞をいただくことができました。

理事会は、エクセルホテル高知で開催していましたが、平成21年度からはサンピアセリーズで毎月第一水曜日に11時から13時に行っています。研修会は、以前は高知グリーン会館や高知共済会館で行っていましたが、平成21年度からは高知会館で開催しています。

国の公共事業費が毎年削減され、建設産業は衰退の一途をたどっています。会員の退会に歯止めがかからず存続ができなくなっている学協会が少なくない中で、高知県橋梁会は今年になって6社の入会があるなど発展しています。

「県外企業に負けない技術力を身に付けよう」という先輩達の志を忘れることなく、35年間コツコツと研修活動を続けてきた結果であると確信しています。

先代の会長からの教えを守り、橋梁会の更なる発展充実のために尽力して参りたいと思っています。

皆様のご指導、ご鞭撻を今後ともよろしくお願い申し上げます。



平成23年4月の研修会(高知会館)

高知県橋梁会役員(昭和52年～平成24年)

年度	会長	副会長	会計	理事	監事	法人 会員	正 員
昭和52年	石川貴泉	掛川延寿	北村孝	公文重徳、山崎英昭、首藤久美	氏原基春 高石泰雄	16	36
昭和53年			公文重徳	岡村武彦、北村孝、山崎英昭、細木伸一	高石泰雄 川村雅英	20	42
昭和54年				岡村武彦、北村孝、山崎英昭、高石泰雄、豊後猛	細木伸一 川村雅英	22	47
昭和55年				岡村武彦、北村孝、山崎英昭、高石泰雄、豊後猛、大原秀一、中川正	細木伸一 川村雅英 中村涼	22	47
昭和56年				豊後猛、北村孝、中塚誠、豊浦俊之、川上剛男	細木伸一 川村雅英	24	52
昭和57年	村山保	森田圭一	豊後猛、北村孝、中塚誠、豊浦俊之、川上剛男、渡辺稔、沢本和男	森田圭一 浜口勇孝	23	51	
昭和58年			北村孝、川上剛男、中塚誠、沢本和男、豊浦俊之、浜口勇孝、坂本喬	豊後猛 渡辺稔	23	56	
昭和59年			北村孝、川上剛男、中塚誠、右城猛、豊浦俊之、浜口勇孝、坂本喬		22	51	
昭和60年			豊浦俊之、川上剛男、中塚誠、右城猛、尾崎政守、浜口勇孝、坂本喬、藤田吉男、山本克彦、森本修功		24	57	
昭和61年		公文重徳、川上剛男、中塚誠、右城猛、尾崎政守、浜口勇孝、坂本喬、藤田吉男、山本克彦、森本修功	27		63		
昭和62年		公文重徳、川上剛男、中塚誠、右城猛、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、藤田吉男、山本克彦	27	65			
昭和63年		北村孝	公文重徳、豊浦俊之、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、藤田吉男、山本克彦	28	65		
平成元年		右城猛	中塚誠	公文重徳、川上剛男、北村孝、右城猛、尾崎政守、浜口勇孝、坂本喬、藤田吉男、山本克彦、森本修功	豊後猛 渡辺稔	29	72
平成2年				公文重徳、川上剛男、中塚誠、右城猛、尾崎政守、浜口勇孝、坂本喬、藤田吉男、山本克彦、森本修功		33	87
平成3年			川上剛男	公文重徳、豊浦俊之、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、藤田吉男、山本克彦		34	94
平成4年	公文重徳、豊浦俊之、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、藤田吉男、山本克彦			34		94	
平成5年	公文重徳、豊浦俊之、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、井上昭一、山本克彦	36		94			
平成6年	公文重徳、豊浦俊之、玉井佐一、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、井上昭一、山本克彦	40	101				
平成7年	公文重徳、豊浦俊之、玉井佐一、中塚誠、尾崎政守、森岡恵、坂本喬、井上昭一、山本克彦	42	104				

平成 8 年		玉井佐一		公文重徳、豊浦俊之、右城猛、中村和弘、川田博一、尾崎政守、坂本喬、井上昭一、山本克彦		45	104
平成 9 年	玉井佐一	川上剛男	中村和弘	豊浦俊之、右城猛、川田博一、永沢悦穂、久川巖、刈谷健二、浅井博之、坂本喬、井上昭一	山本克彦 氏原基春	50	108
平成 10 年				豊浦俊之、右城猛、橋田恭司、永沢悦穂、刈谷健二、浅井博之、隅田一夫、井上昭一		53	103
平成 11 年				豊浦俊之、右城猛、橋田恭司、永沢悦穂、刈谷健二、浅井博之、隅田一夫		52	105
平成 12 年				豊浦俊之、右城猛、橋田恭司、永沢悦穂、刈谷健二、浅井博之、山崎幸雄		52	95
平成 13 年				右城猛、刈谷健二、浅井博之、橋田恭司、森下伸裕、西川準二、吉田幸男		50	88
平成 14 年				山本克彦		46	76
平成 15 年				山本克彦		44	72
平成 16 年				中村和弘	吉田吉男	右城猛、橋田恭司、西川準二、武内豊、山崎喜一郎、森下伸裕	森下伸裕 村野恭一
平成 17 年	右城猛、西川準二、武内豊、山崎喜一郎、安見和夫、岡本圭吾、森下伸裕	32	53				
平成 18 年	西川準二、武内豊、山崎喜一郎、安見和夫、岡本圭吾、森下伸裕	28	44				
平成 19 年	武内豊、安見和夫、岡本圭吾、森下伸裕、岡林弘憲	29	44				
平成 20 年	右城猛	吉田幸男	武内豊、岡本圭吾、森下伸裕、岡林弘憲	森下伸裕 松原高志	26	51	
平成 21 年			武内豊、岡本圭吾、森下伸裕、岡林弘憲		27	52	
平成 22 年			武内豊、森下伸裕、岡林弘憲、濱田博人		30	60	
平成 23 年			武内豊、森下伸裕、岡林弘憲、濱田博人		35	69	
平成 24 年							



平成 20 年 4 月の理事会(一水会)

研修会の内容（昭和57年～平成23年）

年度	月日	場所	参加者	講演内容	講師
S57	6月5日		70名	橋梁専門職に対する期待 鋼合成桁橋の設計例	建設省高知工事事務所長 市川四郎 サン土木コンサルタンツ会長 村山保(技術士)
	8月7日		45名	鏡川大橋等の架橋について プログラム電卓を使った各種計算法 新製品の紹介	高知県土木部港湾課長補佐 白川義和 サン土木コンサルタンツ参事 山崎英昭 東京ブリアリング工業(株) 松山営業所
	12月4日		45名	道路計画について 土木技術者について PC橋の架設(押し工法)の映画	建設省土佐国道工事事務所長 吉川勝敏 高知県土木部土木技術技監 瀬戸正美 ピーシー橋梁(株)四国支店長 川村雅英
	2月24日		50名	土佐道路の建設について 鋼管パイルの設計について 耐候性鋼鉄の特質について	建設省高知工事事務所副所長 浜田 一 住友金属(株) 川崎製鉄(株)
	4月20日		52名	擁壁の安定計算について	サン土木コンサルタンツ会長 村山保(技術士)
	6月23日		58名	第9次道路整備五箇年計画と高知県の道路行政について 橋梁下部工の設計例 標準貫入試験(N値)について	高知県土木部道路課長 浅野茂 サン土木コンサルタンツ参事 山崎英昭 旺洋技建(株)専務 北村孝
	8月17日		75名	山岳道路(布施ヶ坂)の道路計画について 橋梁上部構造(鋼構造)の設計について 橋梁架設工法(映画上映)	建設省中村工事事務所長 敷地節雄 (株)高知鉄建工務課長 野々下寛 (株)高知鉄建 統括部長 豊浦俊之
	10月19日		60名	高知県の土木行政の展望 PC連結桁の設計 最近のPC橋について	高知県土木部長 堅田武男 PC建設協会関西支部技術部会長 成田康夫 PC建設協会関西支部技術部副会長 橋田三郎
	12月7日		50名	土木用資材の接着剤と新製品の紹介	ショーボンド建設(株)高知営業所長 小野準象
	S59	4月25日		40名	土質試験について 建設省標準設計について
6月13日			88名	高知県の橋梁 プレベーム工法の説明と映画	高知県土木部道路課長補佐 榎並谷哲夫 プレベーム振興会技術委員 渡辺 晃
8月22日			50名	道路管理と橋梁 高欄の新製品について	建設省土佐国道工事事務所長 板橋正光 積水樹脂(株)高松営業所 片岡敏則
12月5日			50名	映画上映 (①明日の川、②土佐の夜明け、③コンピュータと私たちの暮らし、④地震予知)	

	2月13日		35名	橋梁と聞こえない騒音 伸縮可撓性矢板、ニューブローポイント 映画上映(原子力発電の安全性)	建設省中村工事事務所長 瀬戸口忠臣 東京フアブリック工業(株) 小西洋佑
	4月24日		42名	健康管理について アンカー工法概説	高知医科大学教授 喜多村勇(医学博士) 旺洋技建(株)専務 北村孝
S60	6月19日		55名	橋梁の風洞実験について 橋梁における合成構造の発展と動向	建設省高知工事事務所長 望月倫也 川崎製鉄(株) 佐藤政勝(工学博士)
	8月21日		30名	建設業の海外事情について 連続舗装伸縮ジョイント(ヘキサ・パネル)工法について	建設省土佐国道工事事務所長 不破 真 ささや商事(株) 小松正和
	12月17日		61名	土木工事からみた高知県の地質	高知大学名誉教授 甲藤次郎(理学博士)
	2月18日		32名	高速道路における橋梁計画について テールアルメ盛土工法の設計施工上の留意点	日本道路公団高知工事事務所長 吉新達夫 川崎商事(株)課長代理 橋本良昭
	4月23日	国際ホテル	53名	高知県の土木行政の展望 映画上映①若戸大橋、②大沢崩れ砂防対策、③六方沢橋	高知県土木部長 岡本増夫 土木学会選定映画
S61	6月18日	職業訓練センター	47名	海外(サウジアラビア)における建設事業について 杭基礎の設計について	建設省高知工事事務所長 山本雅史 サン土木コンサルタント参事 山崎英昭
	8月20日	職業訓練センター	40名	逆T型擁壁の設計計算例とその考察 映画上映(鏡川大橋の架設工事)	サン土木コンサルタント会長 村山保(技術士) 高知県高知土木事務所長 高島誠一
	12月17日	国際ホテル	54名	道路計画について 著書「中小橋梁の計画」技術講義 新しい橋梁付属物について	建設省中村工事事務所長 宮内幾男 (株)第一コンサルタント技術部長 右城猛(技術士) ショーボンド建設(株)
	4月24日	国際ホテル	100名	新しい土工指針に基づく擁壁等の設計法 多数アンカー式擁壁工法について	サン土木コンサルタント会長 村山保(技術士) 建設省土佐国道工事事務所長 藤川昌幸 岡三興業(株)
	6月24日	職業訓練センター	55名	高知県の土木行政と用地問題 橋梁用防護柵について 仮設橋について	高知県土木部用地監 田中廣 興和工業(株) 松尾橋梁(株)
S62	12月14日	サンルートホテル	40名	高知県の道路整備について 斜面上の段切り基礎の設計法	建設省土佐国道工事事務所長 山川健蔵 (株)第一コンサルタント技術部長 右城猛(技術士)
	4月24日	国際ホテル	76名	道路中心線「クロソイド」の設計法 ロックシェッドの設計について ソウマジョイントの設計について	高知工業高等専門学校 教授 岡崎義則(工学博士) 日本サミコン(株)研究所課長 松葉美春 横浜ゴム(株)

	6月20日	職業訓練センター	48名	地すべり地山の強度定数逆解析について 橋梁における鋼構造の動向について 限界状態設計法による設計計算例	徳島大学工学部教授 山上拓男(工学博士) 川崎製鉄(株) 佐藤勝政(工学博士) サンエコーサルタント会長 村山保(技術士)
	8月21日	職業訓練センター	78名	波の話 水門の設計 岩盤掘削機 CD 工法 1500	建設省高知工事事務所所長 山口修 西田鉄工(株)部長 山口進吾 日本基礎工業(株)部長 近沢禮吉
	12月9日	国際ホテル	40名	クロソイドの基本設計 現在の斜面工法の推移と今後の動向 もたれ式擁壁の設計法に関する一提案 限界状態設計法による設計計算例	高知農業高校教諭 宅和勝 東興建設(株)部長 安保昭 (株)第一コーサルタント 矢野光明 サンエコーサルタント会長 村山保(技術士)
	4月21日	国際ホテル	41名	高知県の土木行政の展望 免震装置について これからの水利について(自動堰、自動懸樋) 疲労限界状態の設計計算例	高知県土木部副部長 岡本増夫 東京フアブリック工業(株) 福井高爾 開成興業(株) 井上庄二 サンエコーサルタント会長 村山保(技術士)
H1	6月23日	職業訓練センター	54名	土佐国道工事事務所管内の橋梁について 鋼床版による損傷RC床版の架替えについて フロアテイング方式置換え基礎の支持力算定式	建設省土佐国道工事事務所所長 佐藤幸男 川崎製鉄(株)研究開発センター 川井豊(工学博士) (株)第一コーサルタント 土居速水
	8月28日	職業訓練センター	61名	国民休暇構想と道路整備について 地盤改良工法について 野川地すべりの調査・設計から施工まで	高知県土木部道路課長 榎並谷哲夫 東興建設(株)技術開発部長 成田隆 (株)相愛 調査主任 土居幹夫
	12月6日	国際ホテル	35名	高速道路建設について 西欧を訪ねて 国内外のロックシェッドの現状と今後の展望	日本道路公団高知工事事務所所長 池辺健二 高知県伊野土木事務所主幹 池本正英 (株)第一コーサルタント技術顧問 吉田博(工学博士)
	4月26日	国際ホテル	83名	バイプレ工法の設計と施工 改訂新道路橋示方書の解説(下部構造編) 橋上 SAS(空間設計)	オリエンタル建設(株)設計課長 鏡原芳雄 (株)第一コーサルタント常務取締役 右城猛(技術士) 積水樹脂(株)SAS 企画担当課長 磯本真治
H2	6月20日	職業訓練センター	58名	建設分野における海外技術協力について 道路橋示方書の改訂について(コンクリート橋編) 補強土壁工法設計施工マニュアルの改訂について	建設省高知工事事務所所長 猪股純 ピーシー橋梁(株)四国支店設計課長 森岡恵 川鉄商事(株)テールアルメ工法技術部課長 田畑秀典
	8月29日	職業訓練センター	46名	高知県の道路行政の展望について 動脈硬化からくる心臓病の理解と予防 鋼管杭の設計と施工について 道路橋示方書の改訂について(鋼橋編)	高知県土木部道路課長 稲寺隆 高知市民病院内科副院長 永森誠一郎(医学博士) 住友金属工業(株)大阪建設技術室 京谷光高、渡瀬哲朗 北村商事(株)建設部建設課長 武内豊

	12月12日	国際ホテル	50名	吊構造の特性と最近の事例について 段切り基礎の地盤反力算定法に関する研究 道路橋示方書の改訂について(耐震設計編)	日本鋼管(株) 梶一 (株)サン土木コンサルタント 前田史男 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城猛(技術士)
H3	4月24日	国際ホテル	65名	高知県の土木行政の展望について 斜面上の深礎杭の設計法と計算例 高知市の地質について	高知県土木部長 榎並谷哲夫 (株)第一コンサルタンツ技術部設計課長補佐 矢野光明 (株)相愛取締役コンサルタンツ部長 中村和弘(技術士)
	8月29日	職業訓練センター	40名	石油備蓄について 道路支承便覧の改訂に伴う新しいゴム支承の設計について 大規模逆T型擁壁の自動設計 試行くさび法による土圧評価法とその問題点	建設省土佐国道工事事務所長 小林保 東京フアブリック工業(株)支配人 渡辺富夫 (有)高南測量設計 設計課長 筒井秀樹 (株)第一コンサルタンツ 片岡寛志
	12月11日	国際ホテル	53名	消化器症状と疾患 土木事業における会計検査対策のポイント もたれ式擁壁の簡便な土圧算定法の提案 土圧指針の土圧算定法の重大な問題点と合理的な土圧算定式の提案 最小自乗法の理論とその実用例	高知市民病院 里見建祐(医学博士) (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城猛(技術士) (株)第一コンサルタンツ技術部設計課長補佐 矢野光明 (有)高南測量設計 設計課長 筒井秀樹 サン土木コンサルタンツ(株)取締役会長 村山保(技術士)
	4月23日	国際ホテル	40名	高知県の道路整備の現況と課題 逆T型擁壁の合理的な土圧評価法に関する研究 四国の地すべり対策工 一般化極限平衡法(GLEM)を用いた逆T型擁壁の土圧算定	高知県土木部道路課 稲寺 隆 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城猛(技術士) (株)相愛取締役コンサルタンツ部長 中村和弘(技術士) (株)サン土木コンサルタンツ設計班長 前田史男(技術士)
	8月25日	職業訓練センター	51名	海岸事業と海洋開発 コマ型ブロック基礎の設計と施工 中小橋梁に適したPC橋の種類とその選定基準 関西国際空港の建設現場状況	建設省高知工事事務所長 和田一範 伏見工業高等学校教諭 安川郁夫 ピーシー橋梁(株)四国支店設計部長 森岡恵 北村商事(株)建設部取締役 川上剛男
H4	12月10日	国際ホテル	53名	第11次道路整備5ヵ年計画(案)の概要 土木構造物における鋼・コンクリート合成構造の適用 四国の橋 景観設計とその問題点	建設省中村工事事務所長 大川淳夫 日本鋼管(株)大阪支社 若菜弘之(技術士) サン土木コンサルタンツ(株)取締役会長 村山保(技術士) (有)サワテック代表取締役 小松正和
	4月28日	国際ホテル	78名	高速道路の維持管理について 高知県におけるコンクリート二次製品利用の現状と課題 混合擁壁の設計法に関する提案 橋梁におけるRC床版の新しい補修工法 三点問題による図根点の設置計算例	J.H. 日本道路公団高知工事事務所長 杉山 保利 高知県土木部防災指導課設計基準班長 島本 民雄 (株)第一コンサルタンツ技術部設計課主任 山岡 幸弘 マダネ科学(株)常務取締役 藤巻 正義 (株)サン土木コンサルタンツ取締役会長 村山 保

H6	8月25日	高知県職業能力開発協会	58名	四国地方道路整備五箇年計画(案)について 新しい橋梁活用荷重、暫定荷重の適用について ヨーロッパにおけるGPS測定の現状について	建設省土佐国道工事事務所長 田中 勇 日本電子計算(株)大阪支店技術営業部 辻 基成 (株)第一コンサルタンツ調査課長 村山 修一
	12月8日	国際ホテル	57名	高知県の道路について 舗装デザインの新しい展開 イタリアの橋梁 良い鉄筋コンクリート	高知県土木部道路課長 安岡 健 日本興業(株)技術開発部課長 加宮 利行 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城 猛 (株)サン土木コンサルタンツ取締役会長 村山 保
	4月22日	国際ホテル	105名	アンカー工法について 有限要素法概論 道路橋示方書の改定(25t荷重等)について	高知県中村土木事務所 工務第一課長 和田 達夫 高知県立安芸工業高等学校 教頭 今西 清志 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城 猛 ピーシー橋梁(株)四国支店設計課長 森岡 恵
	8月22日	職業能力開発協会	53名	高知県の土木行政について 吊構造を利用した橋梁設工法 北欧と南欧の道路および橋梁の見学報告	高知県土木部長 村岡 憲司 住友建設(株)土木開発課長 水谷 淳 (株)第一コンサルタンツ技術部長 明坂 宣行
	12月9日	国際ホテル	57名	河川技術開発五箇年計画(新しい世紀への21の扉) 新しい建設用鋼材の施工方法及と適用例、低騒音低振動無排土工法 擁壁の土圧分布	建設省高知工事事務所長 池田 茂 川崎製鉄(株)エンジニアリング事業部長補 小関 為久 構管技術コンサルタント 有岡 優
	4月21日	国際ホテル	94名	道路行政の趨勢 プレストレストコンクリート浮き棧橋の設計施工について 橋梁の耐震設計の現状と今後の課題、阪神大震災の反省にたつて	建設省中村工事事務所長 亀岡 平 極東工業(株)大阪支店設計部主任 藤田 修 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城 猛
	8月30日	職業能力開発協会	76名	これからの道路 土木技術に関する最近のトピックス 橋梁の新しい耐震設計基準について	建設省土佐国道工事事務所長 白川 幸男 建設省四国地方建設局 道路工事課構造係長 大西 隆 (株)第一コンサルタンツ常務取締役 右城 猛
	12月8日	国際ホテル	70名	道路事業におけるシビックデザイン、四万十川流域での事例 橋梁の免震設計と耐震補強 ゴム支承と落橋防止装置について	窪川土木事務所工務課長 岡林 厚 住友建設(株)東京本社土木設計部課長代理 藤原 保久 東京フアブリック工業(株)本社技術部支配人 渡辺 雷雄
	4月26日	国際ホテル	70名	高速道路をとりまく状況(全国及び高知) 耐震対策工法について 植生擁壁テキストムームアームについて(ノムラ産業) 測地学の先駆者、伊能 忠敬	日本道路公団高知工事事務所長 植山 聡 ショーボンド建設(株)エンジニアリング本部技術部課長 樋野 勝巳 テキストムームア協会、天竜工業(株)部長 木村 光男 (株)サン土木コンサルタンツ取締役会長 村山 保
	8月23日	職業能力開発協会		公共土木事業の展望 鋼道路橋のガイドラインについて 炭素繊維シートによるコンクリート構造物の補修、補強工法 落石の運動の予測法に関する研究	高知県土木部副部長 安岡 健 日本鋼管(株)大阪支社橋梁鉄鋼部設計室長 藤田 勝彦 東燃(株)トウシート事業室長 伊庭 良知 (株)第一コンサルタンツ 技術部長 明坂 宣行

					地震応答解析一性能設計一 スコットランド地方における「開発と自然の調和」について EPS 土木工法の現状と将来 土木工学を愛し続けて	高知工業高等専門学校教授 吉川正昭 高知県南国土木事務所 主任 高橋大助 積水化成製品工業(株)建材技術部 佐藤修、西岡省二、大橋成光 (株)サン土木コンサルタンツ 取締役会長 村山保
H9					これからの公共事業の進め方について RC 橋脚の新素材を応用した耐震補強工法 盛土補強土工法	高知県土木部長 井添健介 住友建設(株)土木本部技術設計部 次長 木島祐一 (株)補強土エンジニアリング代表取締役 小川憲保
					高知新港の現状と将来構想について ゴム支承設計の考え方 モジュラーチ工法について	運輸省高知空港空港工事事務所 工務課長 木村博 川口金属工業(株)技術部 次長 鶴野楨史 モジュラーチ工法協会 技術委員 伊勢省吾
					特殊車両の通行制限令について 建設コストの削減と新工法の開発 新道路橋示方書に対応するゴム支承について	建設省土佐国道工事事務所 所長 後藤守 棚技研製作所 専務取締役 榎並谷哲夫 棚ビービーエム 今井隆
					ガンになるための条件 道路橋示方書改定にみる土木設計の動向 耐震設計ソフトウェア・補強設計 橋梁の安全性に貢献する緩衝システム	高知市立市民病院 病理診断科 科長 沼本敏 株式会社総合システム 技術第1部 部長 田代尚史
					河川法及び河川法施行令の改正について 鋼管ソイルセメント杭による下部工建設コスト削減の提案 景観・環境工事への取組 多目的袋状構造物(サンドチューブ)の利用について	シバタ工業株式会社技術開発本部 開発企画室 室長 生駒信康 建設省高知工事事務所 河川管理課 課長 立石耕一 ガンテツパイプイル工法協会技術委員 石井幸一郎、等俊一、胡谷恒史 日本プラフォーム(株) 常務取締役 吉野正史 技術部長 金子純一 りんかい建設株式会社 技術本部 技術課 為広哲也
H10					高知市の都市建設行政について 最近のジオテラススタイル補強土工法について 設計の視点から見た建設コスト削減について	高知市都市建設部 部長 長尾 達雄 三井石化産資株式会社土木資材事業部 技術部長 岩崎高明 (株)第一コンサルタンツ 右城猛
					鋼橋の建設コスト削減の試み(主として高機能鋼材の橋梁への適用) 波形ウエーブPC橋の波形鋼版について 健康と食事と運動	川崎製鉄株式会社 橋梁・鉄鋼事業部 部長 川井豊 日本鋼管ライトストチール(株) 技術本部 部長 岡本康男 高知市保険所 所長 森岡茂治
H11					‘98 高知豪雨の検証と今後の対策について 建設業における労働安全管理 斜張橋の現場施工型ケーブルの設計および架設	高知県土木部河川課 課長 池澤禮司 労働省高知労働基準局安全衛生課 安全専門官 田村孔宏 株式会社エスイー 技術部 課長 木部洋

	8月27日	職業能力開発協会	36名	生活習慣病とその予防対策 高知大学地域共同研究センターの活動と企業から見た利用の仕方並びに溶接欠陥の種類とその見分け方 コスト削減をめざすPC橋	高知県立総合看護専門学校 校長 医博 日高武邦 高知大学地域共同研究センター 助教授 工博 内田昌克 ㈱ピー・エス 大阪支店土木技術部 設計課 課長 蔵本修
	10月20日	職業能力開発協会		土佐国道工事業の概要と既存道路の機能向上について コンクリートの劣化 新しい吸音構造による低層型吸音壁の開発	建設省土佐国道工事業事務所 副所長 上路茂 高知大学農学部生産環境工学科 教授 農博 篠和夫 ㈱サンケンシステム 技術開発本部 部長 三羽康夫
	12月8日	国際ホテル		T.B.Kシステム工法(長距離推進工法)の解説 補強土壁工法一鋼性スリットウォール工法について 橋梁下部工の耐摩耗工法について 高知県土木事業の今後の展望	T.B.Kシステム研究会 顧問 藤井広明 会長 酒井松喜 ㈱タジマ工業 営業部長 西川圭三 技術部長 北本義春 シバタ工業㈱ 技術開発本部 次長 小野田忠弘 高知県土木部長 石川和秀
	4月28日	国際ホテル	92名	これからの道路整備のあり方と課題 ジオシンセテックスを用いた落石防護擁壁(ジオロックウォール)の開発 補強土壁工法の現状と最新工法 コンクリート構造物の補修工法(ONR工法)について	高知県土木部道路課 課長 久保田一水 ㈱プロテックエンジニアリング 代表取締役 野村利充 技術部設計課 課長 井上昭一 ㈱補強土エンジニアリング 代表取締役 小川憲保 ONR工業会 技術部会長 今井博昭
H12	8月25日	職業能力開発協会	46名	高知西南地域の道路整備 高耐久マイクロパイプ工法の概要と施工事例 発泡ウレタンを用いた軽量盛土工法	建設省中村工事業事務所 所長 岡米男 極東工業株式会社 MP推進本部 室長 山根隆志 イノアック特材株式会社 技術部長 榎本晃司 設計課長 立石一英 主任 小林圭司
	10月25日	職業能力開発協会		メタルロード工法(立体ラマーメンブレハブ棧道橋) 水圧浮上型防水壁(バリボード)について 鋼材によるバイルベント橋梁の耐震補強	川崎製鉄株式会社 建設事業部 土木部 山本武志 ㈱アニメックス 常務取締役 立川浩 高知工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 多賀谷宏三
	12月15日	国際ホテル	60名	フィリピン建設事情 サンドイッチ構造によるコンクリート床版補強・取替工法 ISOについて 平成11年研修会旅行記 見学旅行(明石海峡大橋外)に参加して	建設省高知工事業事務所 所長 鈴木研司 ショーボン建設株式会社 パネル構造部長 武井博久 ㈱相愛 常務取締役 中村和弘 ㈱東洋設計コンサルタンツ 専務 刈谷健二
H13	4月27日	国際ホテル	87名	21世紀における高知市の町づくりに関して Prestressed and Precast Concrete Segment 工法 (PC技術を応用したシールド用セグメント) 新型流木捕捉工(キャッチネット工法)及び魚道の改善工法について 落石の運動解析と数値シミュレーション	高知市都市整備部 部長 長尾達雄 住友建設㈱ 土木部土木統括部 次長 竹村恭二 シバタ工業㈱ 技術開発本部技術第1グループ 次長 小野田忠弘 ㈱第一コンサルタンツ 専務取締役 工博 右城猛

	8月31日	職業能力開発協会	35名	徳島県那賀川下流域の地下水の流況について 斜張橋・ニールセン橋に用いる「APSAアンカーケーブル」PCウェルについて	福山大学工学部建設環境工学科 教授 工博 尾島勝 ㈱ハルテック 本社設計部 部長 工博 竹中裕文 ㈱ピー・エス 本社開発技術二部 主任研究員 工博 中井将博
	10月24日	職業能力開発協会	36名	四国21世紀の道ビジョン(仮称)の策定について RC床版の補修補強工法と最近の動向 コンパス工法	国土交通省土佐国道工事事務所 副所長 恒石和義 大成ロテック㈱ 技術部エンジニアリング室 技術課長 鍋島益弘 ヒロセ㈱ 補強土事業本部 副部長 村上猛 狩野勉
	12月6日	国際ホテル	56名	道路土工構造物に関する最近の話題 高強度軽量コンクリート(HSLスラブ)による鋼橋RC床版取替工法 グランドアンカー工のライフサイクルコストについて タイブリッジシステム及びFUTシステムについて	国土交通省国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 地震災害研究官 松尾修 ピーシー橋梁㈱ 本社 技術部 技術部長 仁科一義 ㈱エスイー 技術部 部長 小堀勝弘 ㈱エスイー 工務部 部長代理 平山晃
	4月26日	国際ホテル	70名	道路整備における最近の状況 浮棧橋「JETTY」について 環境に配慮した法面安定工「ジオファイバー工法」	高知県土木部道路課 課長 森部慎之助 川鉄マシナリー㈱ 産機・鉄構事業部 近藤一郎、藤原三治 高知県ジオファイバー協会 日特建設㈱ 部長 菊池洋司
	8月29日	職業能力開発協会	68名	四国の高速道路 最近の落石防護柵について SR合成起状堰の概要と特長	国土交通省四国地方整備局企画部広域計画課 課長補佐 谷脇準蔵 日本ゼニスパイズ㈱ 開発部 部長 塩見昌紀 東京貿易㈱ 戦略事業部SR堰チームリーダー 天貝好孝 飯田鉄工㈱ 高松所長 小沢英一
H14	10月18日	高知城ホール	48名	高知県の津波対策 EPS工法設計・施工基準書(案)の改定について 道路橋示方書の改訂について	高知県港湾空港局 次長 門田時廣 積水化成工業㈱ 商品事業本部商品技術部 榎村進一 川田工業㈱ 技術部 設計一課長 高田嘉秀
	12月13日	国際ホテル	52名	橋梁計画におけるコスト削減方策の一考察 衝撃荷重を考慮した落石防護柵基礎の設計法 道路橋示方書の改訂について 平成13年研修会旅行記 見学旅行(NKK福山製鉄所 外)に参加して	土佐国道工事事務所 調査第二課 調査第二係長 濱田向啓 ㈱第一コンサルタルンツ 専務取締役 工博 右城猛 ピーシー橋梁㈱ 四国支店 技術課長 赤松輝雄 ピーシー橋梁㈱ 次長 橋田恭司
	4月25日	国際ホテル	71名	1.5車線の道路整備について ザイペック工法(コンクリートの耐久性向上工法) 夢舞大橋(旋回式浮体橋)の建設について	高知県土木部道路計画課 課長 森部慎之助 川田建設㈱ 土木保全事業部 部長 小松信夫 Hitachi日立造船㈱ 防災事業推進室 技術部長 田中洋
H15	8月18日	ウエルサンピア高知	48名	高知駅周辺都市整備について 真空ポンプ併用式グラウト注入工法 PCコンファインド工法 ウェーブに波形鋼板を用いた低桁高PC橋	高知県高知駅周辺都市整備事務所 次長 岡本敬一郎 ㈱エスイー 社会インフラ事業部 部長 戸沢憲行 工務部 河田洋志 ㈱ピーエス三菱 大阪支店 設計グループ 鈴木義晃 ㈱ピーエス三菱 大阪支店 設計グループ 伊藤祐一

	10月23日		68名	野中兼山の斜め堰はなぜ曲線形状なのか？ 歴史的曲線斜め堰の線形に関する実験的研究 トレグリットP F工法について 上下一体橋梁の急速立体交差化工法(QCIB工法)	高知大学農学部 教授 工博 大年邦雄 ジオテキスタイル補強土壁協会 会長 佐藤和彌 J F Eエンジニアリング(株) 橋梁設計部 副部長 井上雅仁 J F E技研(株) 土木建築研究部土木チーム 主査 長山秀昭
	12月12日	国際ホテル	69名	土木行政を取り巻く最近の情勢について 多数アンカー式補強土壁 設計・施工マニユアルの改訂について 自然環境を保全した斜面安定工法について 自然斜面に適用した鉄筋挿入工法	高知県土木部 土木企画課 課長 桑名正博 岡三リビング(株) ジオテックノ事業部 部長 三澤清志 日鐵建材工業(株) 土木開発技術部 部長代理 岩佐直人
	4月16日	国際ホテル	67名	補強土防護擁壁(ジオロックウォール)概要 補強土を用いた落石防護壁(ジオロックウォール) 新形式落橋防止装置の機能性検証及び設計手法	(株)プロテックエンジニアリング 技術開発部 西田陽一 前田工鐵(株) ジオロックウォール営業部 部長 岡田俊一郎 シバタ工業(株) 建設環境事業部建設設計グループ 西本安志 浮島徹
H16	10月4日			リハビリ高圧注入工法によるアルカリ骨材反応の抑制 次の南海地震の実態とそのメカニズム 高精度GPS測量「3D海底鳥瞰図」の作成 石炭灰を用いた軽量地盤材料の開発 深層混合処理工法(DCM法)の耐震性 1) DCM工法的一般概要及び海上DCM工法について 2) 陸上DCM工法について	極東工業(株) 技術本部補修課 課長 岡田繁之 江良和徳 高知大学理学部 教授 理博 岡村眞 (株)楠瀬土建 代表取締役 楠瀬泰一郎 四国電力(株) 土木建築部石炭灰有効活用拡大グループ 副長 岩原廣彦 (株)竹中土木 営業本部エンジニアリンググループ 課長 徳永幸彦 大阪本店工事事務技術グループ 課長 川崎哲人
	12月3日	国際ホテル		これからの建設行政の課題 鋼橋における技術開発の取り組み 道路橋RC床版取換工法「HSLスラブ」 道路橋の長寿化対策技術の提案 平成15年研修会旅行記 見学旅行(錦帯橋外)に参加して	高知県土木部 部長 見波潔 (株)宮地鐵工所 設計二課長 奥村恭司 技術開発課長 佐藤徹 技術開発課係長 久保圭吾 第三橋梁営業グループリーダー 河西龍彦 ピーシー橋梁(株) 本社エンジニアリング本部 技術部長 堂前満 構管技術コンサルタント(株) 専務 吉田幸男
H17	4月15日	国際ホテル		広帯域超音波によるコンクリート構造物の非破壊検査 鋼橋の疲労設計とその実務運用 ジオテキスタイルを用いた路盤路床分離工法	川商テラテック(株)環境開発 副部長 平野昌詳 川田テックノシステム(株)設計部 部長 斉藤道生 三井化学産資(株)土木資材事業部 課長 桜井康一

8月19日				トータルコスト削減に関する橋梁用ゴム支承の新技術提案 大型プレキャストボックススカルバート工法 二方向アラミドシートによる橋脚段落とし部耐震補強工とトンネル剥落防止工	東京フアブリック工業(株)中部事業所技術主任 吉野 伸 日本興業(株)開発部土木開発設計室チーフ 下村誠一 大成ロテック(株)主任研究員 鍋島益弘
				南海地震 2018 について アルミニウム合金製ドーム屋根工法 地震力を考慮した斜面上基礎の支持力評価法 高知駅周辺の都市整備について 最近の橋梁補修材料、工法について HYSC 杭(ハイエスシー杭・鋼管ソイルセメント杭)工法について ハット形鋼矢板(900 幅鋼矢板)について 土佐道路河ノ瀬高架橋工事 ① デザインビルドについて ② 下部工の施工について ③ 桁架設について プレキャスト L 型擁壁(高知県タイプ)の耐震性に関する検討 箱型擁壁の技術的検証・耐震実験結果と新潟県中越地震報告一	(株)東建ジオテック松山支店 山本武美 三井住友建設(株)土木本部土木設計部課長 武富幸郎 (株)第一コンサルタンツ 設計二課 大西一賢 高知市都市整備部 部長 産田節雄 シヨ・ボンド建設(株)大阪支店技術課長 竹村浩志 JFE スチール(株)建材センター建材技術部 課長 河野謙治 JFE スチール(株)建材センター建材技術部 課長 永津省吾
12月15日	8月25日	国際ホテル		竹中デジタル・ラボラトリー竹中土木の解析技術と適用事例一 グリーンパネル工法一全面緑化できる切土補強用軽量パネル一 現場発泡ウレタン軽量盛土工法(R・PUR 工法)について 裁判員制度について 最近の落石対策工 津波防災 山が病めば川も病む 土木構造物の実習施設紹介	(株)竹中土木技術研究所 主任研究員 津國正一 (株)ダイクレ技術本部開発課 今橋慶太 イノック特材(株)技術部長 榎本晃司、設計課長 遠藤大輔 石川法律事務所 弁護士 石川雅康
				我が国の社会資本整備について 環境問題に配慮した地盤改良技術 中越沖地震被害調査報告	(株)竹中土木技術研究所 主任研究員 津國正一 (株)ダイクレ技術本部開発課 今橋慶太 イノック特材(株)技術部長 榎本晃司、設計課長 遠藤大輔 石川法律事務所 弁護士 石川雅康 金沢大学名誉教授 吉田博 前・高知県港湾局長 門田時廣 福留開発株式会社技術顧問 前中良啓 国土交通省四国地方整備局四国技術事務所副所長 吉良勉 国土交通省四国地方整備局 土佐国道事務所 所長 松井 保幸 ㈱不動テトラ四国支店 地盤技術部研究室グループリーダー 伊藤 竹史 ㈱第一コンサルタンツ 代表取締役社長 右城 猛
4月20日	8月24日	高知共済会館	高知共済会館	68名	
				72名	

	12月14日	高知共済会館	53名	<p>土壌菌工法による永久緑化 ジオテラススタイルを用いた新しい補強土壁工法 EPS工法設計・施工基準書(案) 構造物中の躯体コンクリートの強度発現の評価法 新技術活用システム(NETIS)の変更点</p>	<p>全国土壌菌工法永久緑化協会技術委員副委員長 藤井憲明 前田工織機技術部主任 吉田浩一 積水化成工業(株)建設資材事業部設計グループ主任 上山啓大 (株)愛橋技術部 門田光弘 国土交通省四国地方整備局四国技術事務所副所長 吉良勉氏</p>
	4月18日	高知グリーン会館	79名	<p>入札契約制度の動向 画像解析による土木構造物の変状調査 新しい落石防護ネットの開発 耐震性ブロック積み擁壁の研究開発 プレキャストコンクリート道路拡幅工法 アンカー工のアセットマネジメントに関する研究 道路橋床版の下面増厚補強工法・スパーホーゼン式工法</p>	<p>国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所 所長 矢野 守 川田テクノシステム(株) 安井 拡司 (株)ロイヤルコンサルタント社長 筒井秀樹 (株)第一コンサルタンツ技術次長 楠本雅博 日本興業(株)開発部副部長 松山哲也 (株)相愛常務取締役 中村和弘 日本建設保全協会 中・四国方面長 森本秀一</p>
H20	8月29日	高知グリーン会館	73名	<p>橋梁マネジメント 東南海地震アクションプログラム他 アルミ床版を用いた歩道拡幅 最新の補修補強材料・工法について 新規開発された橋梁補修材料について 平成20年度高知県橋梁会現場見学会報告</p>	<p>国土交通省四国地方整備局土佐国道事務所 副所長 原田 康 (株)第一コンサルタンツ調査役 西岡南海男 ピーシー橋梁株式会社 本社 工務グループ長 田中光典 ショールド建設(株)四国支店 工事技術部 技術課長 原田徹 (株)ニッタ 大阪本社技術部 技術課長 上田恭久 高知県橋梁会 理事 岡本圭吾</p>
	12月19日	高知会館	60名	<p>国土交通省に関する最近の話題 ワンデーレスポンスとTOC-CCPM工程管理手法 土佐黒潮牧場の概要と設計手法 木橋建設のすすめ・ヨーロッパの現状を踏まえ 災害と擁壁 ～南海地震時における筆山の擁壁の安全性～ 最近のコンクリート製品</p>	<p>国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所 所長 三戸 雅文 (有)創友代表取締役 宮崎洋一 構管技術コンサルタント(株)係長 友田一志 (株)アンプル調査役 五十嵐恒夫 高知県立高知工業高等学校土木科3年 高橋恒治、坂本敦紀、中村隆之、高島田明彦 高知県コンクリート製品協同組合副理事長 田村 滋</p>
H21	4月21日	高知会館	64名	<p>四国の斜面防災対策 高知県の橋梁のアセットマネジメント 表面含浸材を用いたコンクリートの高品質化への挑戦 村山保先生と私</p>	<p>四国地方整備局四国技術事務所総括技術情報管理官 柳瀬 晴朗 高知県土木部道路課保全担当チーム 岡崎 邦彦 アストン協会技術部会会長 安藤 尚 (株)第一コンサルタンツ社長 右城 猛</p>

8月26日	高知会館	42名	<p>公共事業の展望 外ケープル工法による橋梁補強工法 固有振動による橋梁損傷診断とオイルダンパーによる免震構造 コンクリートの劣化診断法 建設業のBCPについて フランスの感想</p>	<p>参議院議員 脇 雅史 株式会社エスイー 中井督介(技術士) ㈱第一コンサルタンツ 伊藤 哲也、兵頭 学 (株)四国総合研究所 中川裕之(工学博士、技術士) 四国地方整備局企画部防災対策官 藤川昌幸(技術士) ㈱相愛 中村和弘(技術士)</p>
12月16日	高知会館	57名	<p>橋梁耐震補強による補修製品 土砂災害警戒情報について 中小企業の活路を開くための支援制度 土木構造物における小規模補修の現状 土木技術者としての私の経験 橋梁模型製作について</p>	<p>東京フアブリック工業㈱西日本事業所技術主任 吉野 伸 構管技術コンサルタント(株) 野中 拓 四国地域イノベーション創出協議会 コーディネータ 濱田 学 ㈱構造メンテナンス 代表取締役社長 安見和夫 ㈱四電技術コンサルタント代表取締役社長 武山正人(技術士) 高知工業高等学校土木科3年 藤田明久、佐野弘</p>
4月20日	高知会館	80名	<p>道路橋の重大損傷と措置判断ー最近の事例ー 道路橋の損傷および補修事例 橋梁の点検調査における問題点(1) 橋梁の点検調査における問題点(2) 橋梁の修繕工事における問題点(1) 橋梁の修繕工事における問題点(2) 橋梁の長寿命化における課題に関する討論</p>	<p>四国地方整備局道路構造保全官 大西 隆 いの町技術監理課 技監 北川 奉功 ㈱第一コンサルタツ 係長 水田 勝也 ㈱西和コンサルタント 技術室長 渡会 俊司 ㈱構造メンテナンス 代表取締役 安見 和夫 ㈱鉄建ブリッジ技術部技術専門官 植田巖朗 大西隆、北川奉功、水田 勝也、渡会 俊司、安見 和夫、植田巖朗</p>
8月31日	高知会館	44名	<p>増田淳の橋梁設計手法と設計思想 SqC ピア工法 ロングスパン・ポケット式落石防護網工法の開発 岩堰橋変状と今後の対策 見学会報告</p>	<p>日本技術士会四国支部 副支部長 加賀 晃次 (株)高知丸高 代表取締役社長 高野 広茂 日本プロテクト㈱ 代表取締役社長 加賀山 肇 ㈱構造メンテナンス 代表取締役社長 安見 和夫 ㈱第一コンサルタツ設計部設計二課 兵頭 学</p>
12月14日	高知会館	62名	<p>鋼橋の製作及び検査精度について 橋梁の老朽化と長寿命化に関する研究 コンクリート構造物のひび割れについて 【特別講演】会計検査と公共工事～私の体験から～</p>	<p>(株)鉄建ブリッジ 製造部長 小松範章 高知工業高等学校土木科3年生 坂本安隆、睡子友品、長田光央、川 端文雄、竹中翔治、鶴田誠二 高知工業高等専門学校環境都市デザイン工学科 准教授 横井克則 元・会計検査院 望月雄二</p>

IH22

4月19日	高知会館	88名	<p>東北地方太平洋沖地震災害調査緊急報告 製品開発における失敗談「亜鉛と鉄」 鎮メーカが開発した鎖(チェーン)を利用した補強壁工法 アミノ酸を混和した環境新素材「環境活性コンクリート」 エポキシ樹脂全素線塗装型PC鋼の設計 第1回やさしいPC橋の設計</p>	<p>自民党高知県連組織広報委員長 高野光二郎 西日本金網工業 長谷川真道 昭和機械商事(株) 奥西一裕 日建工学(株) 中西 敬 (株)ケーティービー 仁科一義 (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 岡本圭吾</p>
8月30日	高知会館	61名	<p>東日本大震災現地調査報告 東日本大震災の復旧・復興に向けての政治と行政の役割 東日本大震災における国土交通省の取り組みについて</p>	<p>(株)第一コンサルタンツ 右城猛、山岡幸弘、矢田康久、奥村昌史 宮崎測量設計コンサルタント(株) 濱田博人 (株)アンブル 西川準二 (株)セイミツ 林哲也 (株)鉄建ブリッジ 植田茂朗 宮城県を元気にする高知応援隊 高野 光二郎 四国地方整備局中村河川国道事務所 所長 岡村 環</p>
12月13日	高知会館	51名	<p>真空圧密ドレーン工法の適用事例 新型クレーン・橋梁点検車のご紹介 岸壁・護岸補強アンカー工法の概要と災害復旧事例 東日本大震災の支承の被害に関する報告 急速施工性、経済性の高い仮橋(トライアス) 高知県の橋梁の長寿命化</p>	<p>錦城護謨(株) 山内義文 若松クレーン(株) 中平博章 (株)エスイー 竹家宏治 東京フアブリック工業(株) 熊谷洋一 (株)JHI インフラ建設 西野成治 高知工業高校土木科3年 浦中星哉、川村知也、竹内連、中澤智識、三浦康輔、山内祐輝、吉永武司 (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 岡本圭吾</p>
4月17日	高知会館	76名	<p>第2回やさしいPC橋の設計 東京ゲートブリッジに採用された世界最大級のすべり型免震支承 アルミ製ジョイントの特徴と優位性 構造物直下に適用される液状化対策工法～超多点注入工法 地震に強い橋脚補強工法PCCコンファインドと津波発生時の避難場 所確保 落石防護工の設計におけるホットな話題</p>	<p>橋ビービーエム 取締役 執行役員 技術営業部 部長 完塚正美 (株)橋梁メンテナンス 課長 鎗田裕規 日本基礎技術(株) 東京本社地盤改良グループ 専門課長 岡田和成 (株)ピーエス三菱大阪支店 土木営業部部長 土井政治 日本プロテクト(株)代表取締役社長 加賀山 肇</p>

見学会の内容（昭和57年～平成23年）

年度	月日	参加者	見学箇所	備考
S57	10月26日	70名	高知東道路長崎高架 PC 橋架設現場 (株)高知鉄建橋桁製作工場	建設省高橋英雄説明 社員説明
S58	2月8日	15名	広井大橋架設工事現場 窪川土木事務所、住友建設株施工	ディビダーク工法 当日は大雪、気温-6.5°
S59	10月24日	28名	瀬戸大橋建設現場	船と島から説明見学
S60	10月23日	18名	高知自動車道、曾我部川橋下部工事 大豊町川口橋、祖谷かざら橋	日本道路公団説明 会員説明
S61	10月22日	18名	高知県桐見ダム工事現場 石鎚スカイライン	高知県土木部職員説明 係員説明
S62	高知県橋梁会創立10周年記念式典のため中止			
S63	9月9日～10日	19名	瀬戸大橋、橋梁記念館	岡山県湯郷温泉泊
H1	10月18日	19名	高知自動車道立川工事現場 笹ヶ峰トンネル、土佐吉野川橋現場	日本道路公団説明 日本道路公団説明
H2	10月16日～17日	21名	川田工業(株)橋桁製作工場(多度津) 住友建設(株)PC桁製作工場(新居浜)	社員説明 道後温泉泊
H3	6月19日	29名	鳥形山石灰石採掘現場 建設省大渡ダム内部見学	社員説明 建設省係官説明
H4	6月18日～19日	20名	関西国際空港全般、神戸海洋館、 ポートタワー、大鳴門橋記念館、	有馬「五社寮」泊 係官説明
H5	6月23日	33名	建設省筆山トンネル工事現場 浦戸大橋(村山説明)日時計(豊浦説明) 竜馬記念館(小椋館長説明)	吉田監督官説明
H6	5月26日～27日	39名	伊方発電所、松山原子力保安研修所 瀬戸町風力発電所	電力会社係員説明 同上
H7	6月16日	35名	松山自動車道重信川高架橋(プレキャスト) マイントピア別子	道路公団係員説明
H8	本会創立20周年記念行事開催のため中止			
H9				
H10		29名	池田湖橋、東祖谷	ピーシー橋梁
H11	7月8日～9日	33名	野島断層保存館、明石海峡大橋、キリンビール工場、赤穂展示館、大石神社	ポートピアホテル泊
H13	7月5日～6日	26名	しまなみ海道橋梁、NKK 福山製鉄所、出雲市稗原ダム工事現場	
H14	6月	21名	JH 四国横断自動車道太田下町高架橋	
H15	7月18日～19日	16名	岩国市錦帯橋、関戸1号橋(PC2 径間連続ラーメン箱桁橋)の工事現場	オリエンタル建設施工
H16	6月25日	24名	山城町青雲強(世界初の自碇式 PC 複合曲弦トラス道路橋)施工見学、ニューレオマワールド、今治タオル美術館、西条アサヒビール園	住友建設施工
H17	7月15日～16日	20名	宇佐市院内町の石橋、耶馬溪の青の洞門、PC コンポ橋の工事現場、湯布院の民芸村・金鱗湖、別府の地獄池、臼杵の石仏	ピーシー橋梁の現場代理人の 横田恒明氏説明 ホテル由布院倶楽部泊
H18	6月23日	20名	久万高原町大成橋の施工現場見学 道後平ニュータウンの豪邸を見学 砥部焼陶芸館で磁器制作を体験	(株)愛橋の小西吉満所長説明 昼食はホテル奥道後 アサヒビール園の伊予西条店
H19	7月20日～21日	16名	四国技術事務所土木構造物の正しい配筋方法、 施工上の留意点等の研修	

			天の橋立の海浜浸食対策工の見学 香美町香住の香住漁港の防波堤の見学 余部橋梁の見学	
H20	6月28日	16名	徳島県吉野川市鴨島町で施工中の「牛島高架橋」と西祖谷山村のかずら橋	ピーシー橋梁の岡本圭吾説明
H21	6月26日	28名	高知市長浜の県道34号新川川橋損傷調査 須崎市下分で架設中の新新荘川橋視察	ショーボンド建設原田徹説明 日立造船(株)川島芳浩課長
H22	6月18日	23名	岩堰橋(愛媛県松山市石手)、三好橋(徳島県三好市池田)	
H23	6月17日～ 21日	10名(全 57名)	宮城県を元気にする高知応援隊、高知県測量設計業協会、高知県技術士会と合同で、東日本大震災で被災した宮城県でのボランティア活動と、地震動や津波による被害状況の調査を実施。	炊き出し：志津川高校、気仙沼高校 被災地調査：仙台市、名取市、石巻市、南三陸町、女川町、七ヶ浜町、亘理町、北上川
	7月15日	18名	国道194号の大砂橋と角堂橋 四国電力本川発電所(いの町)	

お礼の言葉

第2代目高知県橋梁会会長

高知県橋梁会名誉会員

村山 保



江戸時の武士の思想的支柱となった朱子学の始祖末子の詩に、

言うなかれ 今日学ばずして 来日ありと

言うなかれ 今年学ばずして 来年ありと

日月ゆきぬ 歳我と延びず

ああ老いたり 是誰のあやまちぞや

とある。

全国的にも稀な、自主的な研修団体である高知県橋梁会は、尊敬する工学博士 右城猛会長さん統轄の下に益々隆昌の一途を辿っておりますことは、ご同慶の至りに存ずる次第であります。

このたび、創立 35 周年の節目の年を迎え、会員数も漸次増加し、研修内容も高度化し充実して頼もしい極みであります。

これ偏に、右城猛会長さん、はじめ委員各位の運営よろしきによるものでありまして、尊敬致しております。

さて、記念すべき今日の式上、私共は意外にも表彰の栄に浴し、記念品まで頂き、光栄至極に存じ有難く厚く御礼申し上げます。

思えば 35 年という歳月はかなり長い年月ではありますが、研修の熱意に燃えて、友情の温もりの中にひたり、喜びを見出してきたものと思われま。

今後共、一意尊心精励され、技術と心を磨き、幸せな人生を送られますよう、ひたすらお祈りするものであります。

終りに、高知県橋梁会の更なる隆昌と、会員の皆さん方のご繁栄を祈念致しまして、御礼のご挨拶と致します。

有難うございました。

高知県橋梁会での思い出



高知県橋梁会 元・副会長
(株)第一コンサルタンツ 中村和弘

高知県橋梁会には平7年から理事として参加させていただき平成9年～16年会計、平成17年～20年副会長として活動してきました。研修会、会報発行、見学旅行など多岐にわたる事業を実践し少なからず会員の技術レベル向上に寄与できたものと思っております。

研修旅行は、平成9年来島海峡大橋、平成11年明石海峡大橋・野島断層、平成13年NKK工場・ダム工事見学、平成17年青洞門、平成18年柳谷村大成橋見学などに参加しました。明石海峡大橋は兵庫県南部地震による橋梁構造物の損傷は無く、地盤変位により全長が約1m伸びただけで構造への影響はほとんどなかったとのこと。海面上300mの主塔には平成9年建コン協の見学会で登りましたが、供用前であり船で主塔までを往復しました。それが今回の見学旅行では普段立ち入ることの出来ない管理用通路を通して全体を見学することができ感激いたしました。

青洞門の見学も長年の希望がかないました。小学校5年生の国語の教科書に菊池寛の「恩讐の彼方に」がとりあげられており青洞門のことを知り一度は行ってみたいという希望を抱いていました。「恩讐の彼方に」は実話であると教わりましたが「禅海は主殺しの罪滅ぼしのために青洞門の開削を始め、後に仇とつけ狙った三郎兵衛の息子と共に洞門を完成させた」という部分で主殺しなどのエピソードは菊池の創作であったようで少し興ざめでした。開通後、禅海は通行人から通行料を徴収したとされており、青洞門は日本最古の有料道路ともいわれているようです。

これらの見学旅行は、高知県橋梁会での思い出として今でも強く印象に残っております。さて、次の南海地震は今後30年以内に60%の確率で発生するといわれております。H24. 3. 31公表の「南海トラフの巨大地震」は、強震動断層域11万m²、マグニチュード9.0、津波断層域14万m²、マグニチュード9.1、津波高はこれまでの想定約2倍、震度は高知県のほぼ全域で7という予測が示されました。千年・万年の超巨大地震とされていますが、土木技術者としては、これも考慮に入れておく必要があると思います。

すなわち、通常型地震（南海地震単独 安政地震クラス M8.4）、連動型地震（東海・東南海・南海・日向灘の連動 宝永地震クラス M8.6）、超巨大地震（M9.1）のそれぞれに対して、応急処置、復旧工法の青写真を高知県橋梁会で作成していただければ地震後の復興は相当加速できるものと思います。そうは言っても、まず生き延びなければなりません。地震の予知は不可能といわれていますが、東北地方太平洋沖地震や昭和南海地震の前兆現象は数多く残されており、観察や観測を根気よく続けていけば予知は不可能ではありません。「死んで花実は咲きません」、生きて来るべき南海地震後の復旧・復興に高知県橋梁会の皆様が如何なくその実力を発揮されることを期待してやみません。産総研の宍倉氏の研究によると次ぎは連動型の巨大地震の可能性を指摘されております。

高知県橋梁会の思い出

高知県橋梁会 元・理事

元(株)愛橋高知営業所

あいさい農園 安見 和夫



高知県橋梁会の創立35周年、誠におめでとうございます。35年の間、先輩諸氏が大変な努力された賜物と思います。心からお祝い申し上げます。私は、(株)愛橋高知営業所に平成9年4月に赴任しました。当時、高知のことは全くわからない状況のなかで、土木技術や橋梁技術を熱心に勉強している高知県橋梁会の存在を知りました。知り合いにお願いして、当時会長をされていた故玉井先生に、入会のお願いにまいる入会させて頂き、その後、平成19年度からの4年間は、理事をさせて頂きました。私は、一年前に建設業界から農業に変わりましたが、その40年間のうち、高知県橋梁会に14年間お世話になったことで、たいへんすばらしい方々とお知り合いになることが出来ました。また、高知が大好きになりました。ありがとうございました。

思い出として一番にあげたいのは、研修会での質疑応答の活発さです。講師の方も困るくらい質問があり、愛媛に住んでいた者にはびっくりしました。さすが自由の国だと実感しました。2番目に、全国から今が旬な高度技術をお持ちの講師の方をお招きしての研修会です。3番目は、宴会です。総会後の懇親会、忘年会、現場研修旅行での宴会。楽しく飲ませて頂いたり、情報交換が出来ました。旅行では、阪神淡路大震災見学時に泊まったホテルです。乾杯の時に配膳されたビールを直ぐに飲み干してしまい、宴会係の方の目が、丸くなっていました。その時の野島断層の見学も非常に勉強になりました。橋梁会には、それぞれ得意な分野の技術者が参加されているので、わかりやすく説明を受けることが出来ました。故玉井先生と最後の研修旅行になった余部鉄橋も思い出が深いです。四国技術事務所、天の橋立の海浜対策工、香住漁港の防波堤見学、余部鉄橋の工事など、内容の濃い研修旅行でした。

最近、公共工事の削減で会員各社の経費節減を考慮して、日帰りの現場研修になっていますが、逆に旅費がかからないと、最前線で働いている若い土木技術者が参加しやすくなり、経験豊かな技術者との交流を深めることで、土木技術の継承が実現できると思われまます。また、直面する防災・維持関連の基礎的な技術研修などをテーマにした研修会を行って頂き、若い技術者の参加を積極的に進めてもらいたいと思います。

有機農業を一人で初めて2年目に入りました。きっかけは、高知県立図書館で、本山町山下農園の山下一穂さんの「超かんたん無農薬有機農業」の本でした。この出会いが今の農業のスタートです。土作り、栽培、収穫、販売他難しい事が一杯です。しかし、楽しい事はそれ以上です。いろいろ工夫しておいしい野菜を目指していきます。

高知県橋梁会の皆様ありがとうございました。高知 大好き。

高知県橋梁会の思い出

高知県橋梁会 元・理事

I H I インフラ建設 岡本圭吾



高知県橋梁会創立 35 周年おめでとうございます。私は I H I インフラ建設（旧名：ピーシー橋梁）入社し四国支店に配属になってから 15 年間、研修会や現場見学会に参加してきました。H19 年に橋田理事より引き継いで理事となり、月に 1 度の理事会（一水会）では研修会や現場見学会の計画・準備などをしました。

H20 年現場見学会では、徳島県吉野川市鴨島町で当社が施工していた牛島高架橋に行き、四国初めてのスプライス PC ラーメン橋を見学しました。私が施工方法や工法説明をすると、全員が熱心に聞き、現場の至る所で多くの質問がありました。また、祖谷のかずら橋見学の道中でも大歩危小歩危の渓谷に架かる橋梁に興味を持ちバスの中で勉強会となった。祖谷秘境の湯では露天風呂に入浴し、とても自由で楽しい現場見学会でした。

現場での積極的に取り組む姿勢は、2 代目村山会長の情熱を受け継ぐものだと思います。

村山会長の元内閣総理大臣 吉田茂にアポなし訪問し「心欲小而志欲大」の書を頂いたエピソードはとても驚き感動しました。写しを自宅に飾っていて、眺めてはその時の情景を思い浮かべています。

高知県橋梁会は、3 代目玉井会長がお酒好きだったこともあり、研修会後の「懇親会」「2 次会の赤狸」、現場見学会定番の「西条アサヒビール園」など飲む機会が多く、酒飲み伝統の「返杯」がまだまだ脈々と受け継がれていました。名刺代わりに徳利と杯で多くの方々と知り合いになりました。

また、振り返ってみて本当に楽しかったなと思える貴重な経験や「橋梁や土木技術の向上」を志す技術者との信頼関係を得ることができました。

H23 年に理事を退任しましたが、高知県橋梁会の雰囲気や会員の皆さんが大好きです。今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



H20 現場見学会 徳島県牛島高架橋 祖谷かずら橋



H23 現場見学会 アサヒビール園でジンギスカン

高知県橋梁会 35 周年を迎えて



高知県橋梁会理事・会計
西川 準二

高知県橋梁会は昭和 52 年 4 月の発足以来、今年で 35 周年を迎える事ができました。これもひとえにこれまで高知県橋梁会に携わってこられました方々の努力の賜物であり、心より感謝申し上げます。高知県橋梁会のように自由闊達な技術者の会は全国でも稀だと聞いておりますので、今後さらなる継続をお祈りいたします、歌ではありませんが今後 100 年続きますように…。

私は平成 15 年 4 月から理事を努めさせて頂きました。当時、理事の若返りをしなければいけないということで、吉田さん森下さんと共に今日まで努めさせて頂きましたが、早いものでもう 9 年がたちました。その間、色々な活動がありましたが、中でも研修見学会には楽しい記憶が残っています。特に一泊二日で行った平成 17 年の大分橋梁現場～青の洞門～湯布院～別府温泉、平成 19 年の高松国土交通省技術事務所～京都天橋立～余部鉄橋等は皆が和気あいあい、昼間は橋梁見学での技術意見交換、夜は皆で酒を飲み交わしての親睦と、旅を堪能したのを思い出します。こういった研修旅行は、コンサルタント、建設会社、メーカー等の建設業に携わる方々とコミュニケーションがはかれる場としてこの上ないものであると思います。最近では日帰りでの研修が多くなっていますが、またこういった宿泊研修での意見交換の場を企画したいと思っています。



餘部橋梁にて(平成 19 年 7 月)

またこの 9 年の間には悲しいお別れもありました。特に玉井前会長の訃報(平成 19 年 8 月)は本当に残念でなりません。玉井前会長は直前の研修会にも元気で参加されていたので、あまりに突然すぎ、驚きと悲しみでいっぱいでした。

昨年は東日本大震災があり、橋梁会も「宮城県を元気にする高知応援隊」に協力し、ボランティア活動と現場調査を行ってきました。その惨状は凄まじいもので一生忘れることができません。

今後南海大地震が予測される高知県に住む土木技術者として何ができるのか、今回の地震で自然の力には逆らえないことを痛感し、地震が起きた時にはただただ高台に逃げることを提唱するしかないのかもしれないかもしれませんが、出来る限り技術者として地震・津波対策等の技術提供ができる場として活動していきたいと考えます。

最後になりますが、当会の運営は会員の皆様のおかげで成り立っております。会員数は平成 10 年の 53 社をピークに一時期 30 社を切るまでになりましたが、今年は 35 社まで回復しております。今後も少しでも会員数を増やし、右城会長を中心に実りある高知県橋梁会活動に尽力できるように頑張っていきたいと思っております。

平成24年度高知県橋梁会役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
名 誉 会 員	村 山 保	
会 長 ・ 理 事	右 城 猛	(株)第一コンサルタンツ
顧 問	西 岡 南 海 男	(株)第一コンサルタンツ
副 会 長 ・ 理 事	吉 田 幸 男	構営技術コンサルタント(株)
会 計 ・ 理 事	西 川 準 二	(株)アンプル
理 事	濱 田 博 人	(株)宮崎測量設計コンサルタント
理 事	岡 林 弘 憲	都市開発コンサルタント(株)
理 事	武 内 豊	北村商事(株)
監 事 ・ 理 事	森 下 伸 裕	(株)鉄建ブリッジ
監 事	松 原 高 志	ショーボンド建設(株)



平成24年度 会員名簿

会社名	法人会員 代表者氏名	所在地	上段 TEL 下段 FAX	特典会員1 特典会員2
(株)愛橋 高知営業所	壬生 愛恵	〒781-0301 高知市春野町弘岡上513-5	088-894-5720 088-894-5730	岡田 光弘 篠原 章由
青木建設(株)	青木 誠光	〒785-0022 須崎市下分甲667-18	0889-42-0579 0889-42-0581	青木 修一 青木 俊道
(株)アンブル	西川 和正	〒781-2120 吾川郡いの町枝川678-3	088-892-0144 088-893-0402	西川 進二 高谷 文博
(株)エスイー 四国営業所	原田 敏雄	〒760-0017 高松市番町1丁目6-6 番町壺井ビル	087-826-0481 087-826-2057	奥永 哲也 田中 浩之
(株)エムティシー 大坂営業所	森田 喜代子	〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-21-601	06-4805-6275 06-6390-8420	瀨川 幹生 瀨川 尚志
北村商事(株)	山中 大蔵	〒781-0012 高知市仁井田4606-2	088-847-6141 088-847-6147	武内 豊 横田 譲二
(株)協同	有澤 郁子	〒781-5106 高知市介良乙3256-6	088-860-3865 088-860-3113	島内 清昭 矢野 雅道
(株)橋梁メンテナンス	多田 勝彦	〒114-0023 東京都北区滝野川6-3-1	03-3910-8961 03-5961-6471	川原 千尋 鏑田 裕視
極東興和(株) 四国支店	木田 徳司	〒780-0074 高知市南金田10番1号	088-883-8144 088-884-3269	依光 洋宗 永井 孝史
(株)ケーティービー	上野 洋一	〒761-8071 高松市伏石町1456-3	087-868-0548 087-868-0549	上野 洋一 仁科 一義
構管技術コンサルタント(株)	橋口 孝好	〒780-0945 高知市本宮町105-23	088-850-0550 088-850-0551	吉田 幸男 友田 一志
(株)高建総合コンサルタント	田中 朱美	〒787-0014 四万十市駅前町2-3	0880-34-6633 0880-35-5696	中村 和広 田中 幸博
(株)ゴウダ	合田 恵二郎	〒799-0404 四国中央市三島宮川2丁目4-13	0896-23-2311 0896-23-2833	川口 尚一
(株)高知丸高	高野 広茂	〒781-0014 高知市勘野南町28-2	088-845-1510 088-846-2641	高野 広茂 吉川 雅之
(有)高南技術コンサルタント	山中 賢二	〒786-0012 高岡郡四万十町北琴平町9-36	0880-22-3795 0880-22-5291	山中 賢二 津野 修
ショーボンド建設(株) 高知営業所	松原 高志	〒781-5103 高知市大津乙1218-1	088-866-3000 088-866-0360	松原 高志 安岡 健
昭和機械商事(株) 高松営業所	澤田 征二	〒761-8001 香川県高松市林町2563-10 ファミール2002 1F	087-869-2778 087-869-2783	松本 哲也 澤田 征二
(株)セイミツ	小林 正典	〒780-8001 高知市土居町16-7	088-831-0770 088-832-9273	鎌田 昌典 谷和 理嗣
(株)西和コンサルタント	名本 定幸	〒788-0011 宿毛市宿毛5344-10	0880-63-1163 0880-63-1164	名本 定幸 渡会 俊司
(有)創友	宮崎 洋一	〒780-0806 高知市知寄町3丁目209-4F	088-878-1322 088-878-1412	宮崎 洋一
(株)第一コンサルタンツ	右城 猛	〒781-8122 高知市高須新町3丁目1-5	088-884-1330 088-884-3783	右城 猛 西岡 南海男 山岡 幸弘 水田 勝也 嶋本 栄治 西森 哲也
(株)鉄建ブリッジ	森下 伸裕	〒783-0049 南国市岡豊町中島356-1	088-866-0348 088-866-0547	森下 伸裕 植田 巖朗
東京ファブリック工業(株) 高松営業所	川谷 和也	〒760-0017 高松市番町3-3-17	087-833-8842 087-833-8859	川谷 和也
都市開発コンサルタント(株)	久保山 明	〒780-8061 高知市朝倉甲239-11	088-840-9295 088-840-7713	永澤 健一 岡林 弘憲
長崎テクノ(株)	長崎 一正	〒780-0812 高知市若松町1705番地	088-882-5205 088-882-5207	長崎 正和 野島 英聖
日本基礎技術(株)四国営業所	三宅 秀則	〒760-0080 高松市木太町5109番地3	087-864-3680 087-864-3690	三宅 秀則 西村 和仁
日本興業(株) 高知営業所	樫尾 隆仁	〒783-0022 南国市小籠745-1	088-864-4885 088-864-4890	樫尾 隆仁 太田 孝明
日本プロテクト(株)	加賀山 肇	〒780-0806 高知市知寄町3丁目209番地 土佐商会ビル	088-882-5911 088-882-5911	加賀山 肇 有木 剛
(株)ピーエス三菱 高知営業所	村田 敦	〒780-0915 高知市小津町3番35号	088-824-6570 088-824-6580	村田 敦
(株)ビー・ビー・エム	合田 恵二郎	〒104-0033 東京都中央区新川二丁目13番9号	03-3523-5863 03-3523-5972	立川 昌広 高野 真
福留開発(株)	大場 智公	〒780-0816 高知市南宝永町19番11号	088-883-7251 088-883-7295	大場 智公 谷 雅司
(株)宮崎測量設計コンサルタント	濱田 博人	〒780-0812 高知市長浜1636-1	088-848-1500 088-848-1550	濱田 博人 小澤 修

平成24年度 会員名簿

会社名	法人会員 代表者氏名	所在地	上段 TEL 下段 FAX	特典会員1 特典会員2
(株)ロイヤルコンサルタント	筒井 秀樹	〒781-8122 高知市高須新町三丁目10番8号	088-883-2158 088-884-8616	筒井 秀樹 尾崎 一元
若松クレーン(株)	中平 博章	〒781-5101 高知市布師田578-10	088-866-3108 088-866-3088	中平 博章 高島 一彰
(株)ワタリコンサルタント	山本 克彦	〒787-0011 四万十市右山元町3丁目3-12-7号	0880-34-3640 0880-34-2713	山本 克彦

** 高知県橋梁会のホームページ <http://www.kyouryukai.net/> **



写真のトラス橋は大豊町の旧吉野川橋。明治44年に高知県によって建設されたプラット形式のピン結合トラス橋である。明治時代に建造された橋で現存する鋼橋は10橋程度である。四国では吉野川橋のみであり、歴史的価値の高い橋梁である。

お知らせ

お陰様で高知県橋梁会は創立35周年を迎えました。
平成24年6月27日(火)15時30分より高知会館で記念式典・祝賀会を開催します。

更新履歴

- 2012.4.17 [平成24年度第1回研修会を掲載](#)
- 2011.9.16 [第2回研修会のレポートを掲載](#)
- 2011.8.31 [第2回研修会の写真を掲載しました。](#)
- 2011.7.6 [前理事の安見和夫氏の送別会を行いました。](#)
- 2011.6.26 [東日本大震災を受けた宮城県の津波災害現場を視察してきました。](#)
- 2011.5.14 [土木学会四国支部総会で高知県橋梁会に地域貢献賞が授与されました。](#)
- 2011.4.21 [平成23年度第1回研修会の写真を掲載しました。](#)
- 2011.4.7 [平成23年度第1回研修会案内を掲載しました。](#)
- 2010.9.27 [技術伝承シリーズ・先輩に聞く\(第2回\)を掲載](#)
- 2010.9.21 [第2回研修会のレポートを掲載](#)
- 2010.9.1 [第2回研修会の写真を掲載しました](#)
- 2010.6.22 [現場見学会の写真を掲載](#)

トップページ

会長挨拶

役員・会員

橋梁会の変遷

出来事

活動予定・研修会

研修会

現場見学会報告

高校生橋梁模型コンテスト

トピックス

橋梁入門

橋梁の写真

橋梁会会則

掲示板

問い合わせ

リンク

35周年記念誌

高知県橋梁会の研修につきましては、(社)土木学会より共催協力費を頂いています。

プレストレスト・コンクリート橋の設計・製作・施工・補修補強



株式会社愛橋

主要営業工種

- 道路改良工事
- 河川改修工事
- 道路・河川・港湾構造物工事
- 維持修繕(トンネル、橋梁)工
- 落石対策工



技術で社会に貢献する

青木建設株式会社

本社 高知県須崎市下分甲 667-18
TEL(0889) 42-0579 FAX (0889)42-0581



21世紀の地域環境をコンサルティングする、それが私達の仕事です。



Advisor of Measurement and Planning

総合建設コンサルタント

株式会社 アンプル

〒781-2120
高知県吾川郡いの町枝川678-3
TEL 088-892-0144 FAX 088-893-0402
URL: <http://www.ampl.co.jp/> e-mail: i@ampl.net

営業品目

- 真空グラウトに対応したPC定着システム
SEEE/FUTシステム(NETIS:KT-990229-A)
- 施工性・防食性に優れた吊ケーブル
F-PH型吊ケーブル(NETIS:KT-060097-A)
- 橋梁・構造物補強工法
外ケーブル補強用F-TS型ケーブル
- エネルギー吸収型落橋防止装置
タイブリッジシステム(NETIS:KT-000093-A)
- 岸壁・護岸耐震補強アンカー工法
タイプアンカーA型(NETIS:KTK-100010-A)



株式会社 エスイー

Total Engineering Company for Bridges



本社 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号(新宿アイランドタワー)
TEL (03)3340-5529 FAX (03)3340-5545
四国 高松市番町1丁目6番6号(甲南アセット番町ビル)
営業所 TEL (087)826-0481 FAX(087)826-2057
URL: <http://www.se-corp.com/>



第一至戸津川(高松橋)

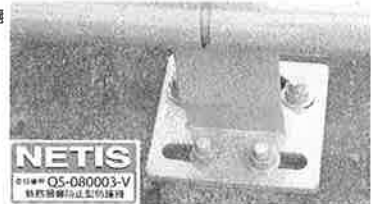
「橋梁の長寿命化計画に貢献する」『鉄筋損傷防止型防護欄・タンサンノ』



IFEM レーリング株式会社

事業本部 〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜2丁目6-45
福岡工場 050 050-3801-3004 FAX 092-641-7943
<http://www.fmrailling.co.jp>

岩手工場・仙台営業所・東京営業所・名古屋営業所・大阪営業所・福岡営業所・鹿児島営業所



株式会社

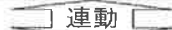
土木設計用ソフトパッケージ開発・販売

エムティシー

本社 東京都豊島区池袋 2-51-14 TEL.03-5396-0521 / FAX.03-5396-0525
大阪営業所 大阪市淀川区西中島 5-8-21-601 TEL.06-4805-6275 / FAX.06-6390-8420
URL: <http://www.mtc-aps.co.jp> E-mail: sale@mtc-aps.co.jp

施工計画支援システム「MTC-EPS」

- ・本システムは、施工計画図の作成を支援します。
- ・クレーン車、油圧ショベル等を動的な配置検討が可能です。
- ・平面図、断面図がリアルタイムに連動します。



車両走行軌跡作図システム「APS-K Win」

- ・本システムは、車両の走行確認を行うシステムです。
- ・CAD図面、スキャナー図面、航空写真等の図面上を走行します。
- ・豊富な車両データが収録されています。(任意の諸元入力も可能)
- ・ルート、止まりハンドル、切り返し等各走行方法で走行します。



橋梁・鉄骨・鋼構造物
設計、製作、施工



北村商事株式会社
建設部

〒781-0112
高知市仁井田4, 606番地2
メタルステーション
TEL (088) 847-6141
FAX (088) 847-6147
本社 高知市城見町5番19号
TEL (088) 883-1121
FAX (088) 883-1167

株式会社 協同

URL <http://kyodo-c.jp>

本社 〒781-5106 高知市介良乙3256-6
TEL (088)860-3865 FAX(088)860-3113

【事業内容】

- 公共事業に伴う測量業務（基準点・路線等）
- 建設コンサルタント業務
- 施工管理業務
- 環境調査アセスメント・環境管理計画等
- 物件調査及び補償コンサルタント業務



人と橋にやさしい形 KMAジョイント

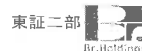


株式会社 橋梁メンテナンス

〒114-0023 東京都北区滝野川6-3-1
TEL 03-3910-8961 FAX 03-5961-6471
<http://www.hashi-mente.co.jp>



わたしたちが創った橋で、道で、建築物で、百年後の人々が笑顔で渡って出会うために。



極東興和株式会社

四国支店 高知市南金田10番1号
TEL:088-883-8144/FAX:088-884-3269
URL:<http://www.kkn.co.jp/>

【事業分野】

橋梁事業、補修補強事業(ASRリテウム工法、マイクロパイル工法ほか)、海岸・沿岸事業、鉄道事業、地下・防災事業、容器構造物事業、建

【事業内容】

プレストレスト・コンクリート構造物の設計、施工
プレストレスト・コンクリート製品の設計・製造・販売
土木建築工事の請負ならびに測量設計、診断・補修

KTB 定着工法 PC 橋梁工法 SPC 橋梁工法 KTB アンカー工法 PC 人工地盤システム



株式会社 ケーティービー

本社 東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 17 階
TEL : 03-6302-0243 FAX : 03-3344-2126

四国(営) 香川県高松市伏石町 2021-1
TEL : 087-868-0548 FAX : 087-868-0549

【業務内容】

河川・砂防・道路・橋梁・下水道・農業土木・防災対策部門及び
測量、地質調査ならびにGISシステム開発



KOUEI
ENGINEERING
CONSULTANT
CO.,LTD.

構営技術コンサルタント 株式会社

【有資格者】

技術士（建設部門） 11名・技術士（応用理学部門：地質） 2名
技術士（総合技術監理部門） 3名・RCCM 10名 測量士 9名
測量士補 7名・一級土木施工管理技士 12名
二級土木施工管理技士 1名・地質調査技士 2名
下水道2種技術検定 3名
システムドミストレータ 1名・CALS/EC イストラクター 1名

技術士 11 名在職 総合建設コンサルタント

代表取締役 橋口 孝好
高知市本宮町 105-23 ソフトウェア団地内
TEL 088-850-0550 FAX 088-850-0551

E-mail kouei@koueicon.co.jp URL <http://www.koueicon.co.jp/>



株式会社 高建総合コンサルタント

建設コンサルタント・測量業・補償コンサルタント・地質調査業

本店 四万十市駅前町2番3号
TEL0880-34-6633 FAX0880-35-5696

高知支店 高知市鴨部1丁目10番27号
TEL088-828-4123 FAX088-828-4122

営業品目

(株)ビービーエム

機能分離型ゴム支承装置 (NETIS:KK-000028)

弾性固定ゴム支承装置 (NETIS:KK-040051)

(株)エスイー

新型落橋防止システム タイプブリッジ (NETIS:KT-000093)



株式会社 ゴウダ

代表取締役社長 合田 恵二郎

〒799-0404 愛媛県四国中央市三島宮川2丁目4番13号

TEL(0896) 23-2311 FAX(0896) 23-2833

<http://www.mgb.gr.jp/gohda/>

「ステップブリッジ」兵庫県・洲本理髪集線歩道新設工事



高知県高知市島野南町28-2
TEL/FAX(088)410-1510/841-2691

marutaka@ceres.ocn.ne.jp <http://www.ko-marutaka.co.jp>

有限会社 高南技術コンサルタント

本社 〒786-0012 高知県高岡郡四万十町北琴平町 9-36
 TEL (0880) 22-3795 FAX(0880) 22-5291 E-mail konangc@trad.ocn.ne.jp
 支社 〒781-8125 高知県高知市五台山 2031-5
 TEL (088) 803-8111 FAX(088) 803-8112 E-mail konangc2@trad.ocn.ne.jp



JFE商事 テールワン 株式会社 松山営業所

〒790-0054
 松山市空港通1丁目8番16号 えさき本社ビル 6F
 TEL:089-972-9938 FAX:089-972-9939
 ホームページアドレス <http://www.terrearmee.com>

～テールアルメだから応えられる～



*安心感 *柔軟性 *存在感 *デザイン性

SHO-BOND “大切にしたい、社会財産 豊かな未来を支える確かな技術企業”

ショーボンド建設株式会社

上 席 理 事 安 岡 健
 高 知 営 業 所 長 松 原 高 志

四 国 支 店 高 松 市 勅 使 町 東 川 原 1131-1 TEL(087)866-0233
 高 知 営 業 所 高 知 市 大 津 乙 1 2 1 8 - 1 TEL(088)866-3000
 HP:<http://www.sho-bond.co.jp>

< 営 業 種 目 >

- ◎ 構造物の調査・診断・設計
- ◎ 維持・補修・補強工法の技術開発、研究
- ◎ 各種構造物の維持・補修・補強
 - ・ 橋梁上部工・橋梁下部工・トンネル・ロックシェッド
 - ・ 河川構造物・上水道 下水道施設・港湾 鉄道施設
 - ・ 建築関連施設・その他コンクリート、鋼構造物
 - ・ 岩盤、斜面の防災・量規保持(法面保護・岩盤接着)
- ◎ 環境保全(美装・修景)
- ◎ 耐震補強工事・補強設計



昭和機械商事株式会社

SHOWA KIKAI SHOJI CO.,LTD.

本社 大阪府大阪市住之江区北加賀屋1-3-23
 TEL:06-6685-6771/FAX:06-6685-9013
 高松営業所 香川県高松市林町2563-10
 TEL:087-869-2778/FAX:087-869-2783



【事業内容】

各種チェーン、コンベア、
 水処理装置、高周波装置、
 補強土壁、その他各種装置
 設計・開発・生産管理・販売

URL:<http://www.showa-kikai.co.jp/>



景観に配慮した防護柵「キャブログ」@FRTS NO.KK-070006=V



株式会社 住軽日軽エンジニアリング

<http://www.sne.co.jp>

- 本 社 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-35-13 新永ビル TEL 03-5628-8516
- 大 阪 支 店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL 06-6223-3561
- 中・四国営業所 〒730-0841 広島市中区舟入町2-20 三栄広島ビル TEL 082-297-5455

< 営業品目 >

- ◎ 道路・街路系: 高欄・車両用防護柵、アルミ床版
- ◎ 都市景観系: シェルター、柵カバー
- ◎ 建 築 系: アルミハニカムパネル、アルミトラス
- ◎ 港湾・河川系: 水門、陸間、ポンツーン屋根

夢とロマンを技術に活かす



総合建設コンサルタント 株式会社 セイミツ

〒780-8001 高知市土居町16番7号
 TEL 088-831-0770
 FAX 088-832-9273
 E-mail: seimitsu@dream.ocn.ne.jp

代表取締役 小林 正典
 技術管理者 谷 相 理 嗣
 技術士
 (総合技術監理部門)
 (建設部門)



SEIWA
 CONSULTANT

人・夢・未来セイワです

株式会社 西和コンサルタント

測 量 業 第6029号、 建設コンサルタント 第8483号
 補償コンサルタント 第2813号、 一級建築士事務所 第321号
 本 社 高知県宿毛市宿毛5344-10
 TEL:0880-63-1163 FAX:0880-63-1164
 E-mail: seiwa@mb.gallery.ne.jp

営 業 内 容

- 測量・GPS測量・深淺測量・測量一般
- 土木関係建設コンサルタント
 道路・橋梁・河川砂防・農業土木・公園・宅地開発・上下水道
- 建築設計・監理
- 補償関係コンサルタント
 用地測量・物件調査・営業調査・機械設備調査・工損調査
- その他
 交通量調査・環境調査・施工管理・ワークショップ



SEKISUI PLASTICS CO.,LTD.

積水化成成品

プラスチック・ソリューション・カンパニー

- EPS土工法(軽量盛土材)
- アクアロード～道路地下に適用可能な樹脂製貯留浸透槽～
- エスレンTYKフォーム(化粧型枠)

第1事業本部 土木資材事業部 大阪土木資材グループ
 〒530-8565
 大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル7階)
 ●TEL 06-6365-3045 ●FAX 06-6365-3057
<http://www.sekisuiplastics.co.jp>



擁壁工等（もたれ式、重力式、谷止工、U型等）の目地部の木製型枠を永久型枠に変更することで

コンクリート構造物の工程を2～3割短縮

技術提案、創意工夫、工事評価点向上、人員削減、トータルコスト減少

NETIS：SK-100001-A(スピード・フォーム工法) 施工実績：国土交通省、林野庁、都道府県で100件以上
有限会社 創友 TEL 088-878-1322 FAX088-878-1412 <http://www.soyu-ec.co.jp>

祝 高知県橋梁会35周年

橋梁設計を通じて、 郷土に貢献します。



一般国道493号 車瀬高架橋

株式会社 第一コンサルタンツ

代表取締役社長 右城 猛

もうすぐ50周年を迎えます。

本社 高知県高知市高須新町3丁目1番5号

TEL 088-884-1330 FAX 088-884-3783

URL：<http://www.daiichi-c.co.jp>

ダイプラハウエル®管



23年度 準推奨技術【新技術活用システム検討会議（国土交通省）】

ダイプラハウエル管による道路下カルバート工の設計施工方法
（高耐圧ポリエチレン管） 国土交通省 新技術登録 NETIS CB-980025-V

■高耐荷重・施工性に優れる

どう性管の特長である管側部水平方向の抵抗土圧により、大きな外圧荷重に耐える事ができるので、自動車荷重にも安全です。また、軽量・長尺なため、工期短縮による施工性・経済性の向上が可能です。

ナクサ® (防草用エンボスシート)



■優れた防草効果

遮光効果が高く雑草の成長を抑えます。シート強度があり雑草貫通が発生しにくく長期使用が可能です。

■施工性に優れる

フレキシブル性に優れ、敷設時に法面、法肩・法尻等に良くなりまします。切断はカッター、鋏などで簡単に加工できます。

■耐久性に優れる

高耐候処方をしたポリエチレンを使用しており、変色や強度低下の恐れが少ないため、長期使用が可能です。

dp 大日本プラスチック株式会社

大阪市北区梅田3丁目1-3（ノースゲートビル16F）
TEL.06-6453-9285 FAX.06-6453-9300
URL: <http://www.daipla.co.jp>

TEKKEN
BRIDGE

人に夢、街に未来
くじら日時計
設計・製作



株式会社 鉄建ブリッジ

鋼橋梁、水門、鋼構造、設計、製作、施工
本社 〒783-0049 高知県南国市岡豊町中島356-1
TEL 088-866-0348 FAX 088-866-0547

- 【橋梁用品】
 - ・バンド型ゴム支承
 - ・機能分離型ゴム支承
 - ・有視防止装置
 - ・大径ゴム支承(分岐支承、並置支承)
 - ・伸縮継手(プロアジョイント)
 - ・変位制御装置(防動アンカー等)
- 【鉄道用品】
 - ・線ばね型、ナブラ型および成端部等各種線路設備
 - ・防振装置
 - ・クレーン軌道用品
- 【止水用品】
 - ・可換性止水線路装置
 - ・可換性止水鋼夾板
 - ・明土圧ゴム製カラー継手
 - ・グラウトホール
- 【減震免震】
 - ・建築用弾性すべり支承
 - ・床免震用すべり支承
- 【工事部門】
 - ・支承交換工事
 - ・伸縮継手装置取付工事
 - ・管線可換止水継手装置取付工事
 - ・有視防止装置取付工事



東京ファブリック工業株式会社 高松営業所

〒760-0017
高松市 幸町 3-3-17
(第一機械ビル3階)
電話 (087) 833-8842~3番
FAX (087) 833-8859 番
E-mail: takestu@tokyo-fabric.co.jp
http://www.tokyo-fabric.co.jp



UR 都市開発コンサルタント株式会社 URBAN DEVELOPMENT CONSULTING

建設コンサルタント(大臣登録 第6781号) 補償コンサルタント(大臣登録 第701号)
測量業 (大臣登録 第8825号)

本社
〒780-8061 高知市朝倉甲 239 番地 11
Tel(088)840-9295 Fax(088)840-7713
E-mail: uck@green.ocn.ne.jp
大阪事務所
〒534-0027 大阪市都島区中野町 4 丁目 1-16-5F
Tel(06)6352-3780 Fax(06)6354-1793
E-mail: urc@poppy.ocn.ne.jp

総合建設コンサルタント

N 長崎テクノ株式会社

本社 高知県高知市若松町1705番地
TEL 088-882-5205 FAX 088-882-5207

福多営業所 高知県四万十市有岡1260
TEL 0880-31-2427 FAX 0880-31-2428

■橋梁部門
KTB外ケーブル補強工法
KTB外ケーブル補修工法
SPC合成桁橋

人と環境の共生をめざし建設基礎技術で豊かな社会創りに貢献する

TEL 087-864-3680
FAX 087-864-3690
URL http://www.jafec.co.jp

日本基礎技術株式会社 四国営業所

〒760-0080 香川県高松市木太町 5109 番地 3

TEL 087-864-3680 FAX 087-864-3690

URL http://www.jafec.co.jp



美しく豊かな環境作りに貢献する

日本興業株式会社

http://www.nihon-kogyo.co.jp/

本社 香川県さぬき市志度 4614-13 TEL (087) 894-8130

高知事務所 高知県南国市小笹 745-1 TEL (088) 864-4885

営業拠点/四国・中国・九州・近畿・中部・関東・東北 生産拠点/四国・中国・兵庫・北関東

落石防災をトータルプロデュースします

NIPPRO 日本プロテクト(株)

URL http://www.nipro-net.co.jp

本社 高知市知寄町3丁目209番地 土佐商会ビル
TEL/FAX (088) 882-5911
愛媛事務所 松山市空港通1丁目3番2号 東和ビル
TEL/FAX (089) 971-6015

営業品目

- ◆高性能ポケット式落石防護網
- ◆ロングスパン(NETIS:SK-080002-A)
- ◆環境負荷軽減型の落石・雪崩防護柵
- ◆三角フェンス(NETIS:HR-020009)
- ◆高性能簡易型の落石・雪崩防護柵
- ◆E-FENCE(NETIS:HR-070018-A)
- ◆新世紀の落石緩衝材
- ◆ハイビーム(NETIS:HR-010002-A)
- ◆新製品の開発計画・実験・解析支援業務

落石対策のことなら是非とも
ご一報をお願い致します!



代表取締役
加賀山 肇



株式会社 ピーエス三菱

人と自然が調和する豊かな環境づくりに貢献する。

【高知営業所】 〒780-0915 高知県高知市小津町3番35号

TEL 088-824-6570 FAX 088-824-6580



株式会社 **ビービーエム**

H S B 機能分離型ゴム支承装置 (NETIS:KK-000028)
 F x S B 弾性固定ゴム支承装置 (NETIS:KK-040051)
 U C B 超小型ゴム支承装置 (NETIS:KK-100022)
 コンポーズ 機能合体型ゴム支承装置 (NETIS:KK-100043)

代表取締役社長 合田 恵二郎

〒104-0033

東京都中央区新川2丁目13番9号美和ビル

TEL(03)3523-5861 FAX(03)3523-6621

hi cot株式会社

四国支店長 松浦 正純
 副支店長 下元 博幸 (高知営業所駐在)
 四国補強土事業部長 幸田 泰延
 四国支店 〒762-0012
 香川県坂出市林田町字番屋前4285-299
 TEL:0877-47-4601(代表)

《営業品目》

KDトラス橋・プレガーター橋・HSトラス
 重仮設機材・仮設橋機材
 テールアルメ・テクスパン・コンスパン
 URL: <http://www.hirose-net.com/>

高知営業所 〒780-0870
 高知県高知市本町5-1-10(ヨシカブルービル5F)
 TEL:088-871-1411

土木・橋梁・トンネル 補修・補強工事

福留開発株式会社

〒780-0816 高知市南宝永町19番11号

E-mail info@fukudome.co.jp

代表取締役

大場 智公

TEL 088-883-7251 FAX 088-883-7295

営業内容

- 都市計画部門
- 観光振興部門
- 道路部門
- 構造物調査・設計部門
- GPS・地籍調査部門



『永続性の追求と地域創造』

測量・設計・施工管理・GPS・地籍調査

(株)宮崎測量設計コンサルタント

建設コンサルタント 測量業 補償コンサルタント 大臣登録

本社 〒781-0270 高知市長浜1636番地1 TEL:088-848-1500 FAX:088-848-1550
 東部営業所 〒781-6742 室戸市羽根町乙3182番地14 TEL/FAX:0887-26-0666
 西部営業所 〒787-0010 四万十市古津賀1648番地 TEL:0880-35-2747



株式会社 ヤマサ

本社 高知市五台山4994
 TEL(088) 883-4211(代) FAX83-7851
 幡多営業所 宿毛市平田町戸内3661-47
 TEL(0880) 66-1501(代) FAX66-1550

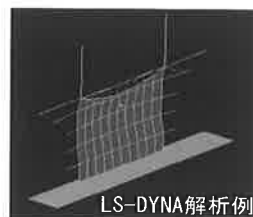
※ 一般鋼材・土木資材販売
 テールアルメ・テクスパン
 鋼製自在枠・擬岩・高欄
 テント

Loyal 株式会社
ロイヤルコンサルタント

高知市高須新町三丁目10番8号
 TEL:088-885-5747 FAX:088-885-5749
 url :<http://www.loyal-c.co.jp/>
 e-mail:sales@loyal-c.co.jp

【業務内容】

- ☆土木設計コンサルタント業務
- ☆発注者支援業務
- ☆製品研究・開発支援
- ☆各種解析
 - ・動的大変形FEM解析(LS-DYNA)
 - ・時刻歴応答解析等の耐震解析



LS-DYNA解析例

Made With Wakamatsu

若松クレーン株式会社

220t~5t油圧クレーン・9m~40m高所作業車・各種敷鉄板
 各種トラック・ユニック・トレーラ・橋梁点検車・トンネル点検車・カニクレーン

本社 〒781-5101

高知市布師田578-10

TEL(088)-866-3108

FAX(088)-866-3088

E-mail:soumu@wakamatsu-c.com

URL:<http://www.wakamatsu-c.com/>

『自然との調和』をWATARIも考えています

株式会社ワタリコンサルタント

代表取締役 山本克彦 技術士(建設部門)

本社 〒787-0011高知県四万十市右山元町3丁目3番12-7号
 Tel (0880) 34-3640 Fax (0880) 34-2713

E-mail : honsya@wataricon.jp

補償コンサルタント大臣登録 (20)第181号
 建設コンサルタント大臣登録 (20)第2100号
 測量業者大臣登録 (9)-8219号
 一級建築士事務所登録 第874号